# 嘉麻市教育委員会点検・評価報告書

(平成23年度事業分)





嘉穂小学校完成イメージ図

平成24年9月 嘉麻市教育委員会 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条及び嘉麻市教育基本条例第7条の規定に基づき、平成23年度の教育委員会の点検及び評価を行いましたことを報告します。

# 嘉麻市教育委員会委員名簿

平成24年9月現在

職名	氏 名	任 期
委 員 長	豊福 眸子	平成22年 7月 4日~平成26年 7月 3日
委員長職務代理者	黒川 朝子	平成21年 7月 4日~平成25年 7月 3日
委員	田中 了彩	平成23年 7月 4日~平成27年 7月 3日
委員	辻田 喜美	平成24年 8月29日~平成28年 8月28日
教 育 長	桒野 良一	平成22年11月 9日~平成26年11月 8日

# 目次

1. 教育委	会員会点検・評価の概要について・・・・・・・・・・・・	1
(1) は	じめに	
(2) 点	検・評価の導入の目的	
(3) 点	検・評価する対象	
(4) 点	検・評価の方法	
(5) 結:	果の取扱い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
(6) 嘉月	麻市教育アクションプラン	
(平月	成21年度~平成23年度嘉麻市教育振興基本計画)	
2. 教育委	<b>受員会の取組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</b>	3
(1) 平	成23年度教育委員会実施状況	
(2) 平	成23年度教育委員会の会議における議案・・・・・・・・・・・・	4
(3) 平	成23年度教育委員会の会議における協議・・・・・・・・・・・・	5
(4) 平	成23年度教育委員会の会議における報告	
3. 各種学	や校調査の結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
4. 事業別	川評価結果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
〇重要課	題 1 確かな学力をはぐくみ、個性や能力を伸ばす学校教育の充実・・・	11
〇重要課	題2 豊かな人間性や志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進・ 🤾	32
〇重要課	題3 生涯学習社会の実現をめざす社会教育の推進・・・・・・・・・	44
〇重要課	題4 いきいきとしたスポーツライフの創造・・・・・・・・・・ !	53
〇重要課	題5 人権尊重精神を育成する教育の推進・・・・・・・・・・・ !	59
〇重要課	題6 特色ある市民文化の創造・・・・・・・・・・・・・・・ (	62
5. 全体評	平価結果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	72
《資料》•	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	74
・嘉麻市教	<b>枚育委員会点検評価実施要</b> 綱	
• 平成 2 4	l 年度嘉麻市教育委員会点検評価委員名簿	

#### 1. 教育委員会点検・評価の概要について

#### (1) はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(以下「地教行法」という。)の一部改正及び嘉麻市教育基本条例の制定により、平成20年4月から、嘉麻市教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しています。

#### (2) 点検・評価の導入の目的

教育委員会制度は、首長から独立した合議制の教育委員会が決定する教育行政 に関する基本的方針のもと、教育長及び事務局が広範かつ専門的な具体の教育行 政事務を執行するものです。

このため、事前に教育委員会が立てた基本方針にそって具体的な教育行政が執行されているかどうかについて、教育委員会自らが事後にチェックする必要があり、教育委員会が地域住民に対する説明責任を果たし、その活動を充実させることが目的です。

#### (3) 点検・評価する対象

嘉麻市教育アクションプラン(平成21年度~平成23年度嘉麻市教育振興基本計画)の事業を対象とします。

#### (4) 点検・評価の方法

事業ごとに、目的達成度の観点から自己評価を行い、点検・評価の客観性を確保するために第三者評価を行いました。

第三者評価については、教育委員や現場教員・事務局職員等ではない者で、教育に関して公正な意見を述べることが期待できる人を想定し、議会、PTA連合会、社会教育委員、公民館運営審議会、図書館協議会、織田廣喜美術館運営協議会、スポーツ推進委員、文化財保護審議会より推薦を頂いた方に依頼し評価していただきました。

(点検・評価の流れ)

- ① 教育委員会事務局(担当課)においてその所管する事務事業等を自己評価
- ② 自己評価の結果について評価の客観性を確保するため、嘉麻市教育委員会点検評価委員を設置し、自己評価に対しての評価
- ③ 教育委員会は評価委員の意見を踏まえ、教育委員会の会議において最終的な 点検評価
- ④ 議会へ報告
- ⑤ 議会報告後、速やかにホームページ等で一般公表

#### (5) 結果の取扱い

この点検・評価においては、事業ごとに4段階【A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業の見直し要】で評価しており、評価の高い事業については、引き続き実施し、評価の低い事業については課題や問題の解決を行うと同時に事業の見直しについて検討していく予定です。

(6) 嘉麻市教育アクションプラン (平成21年度~平成23年度嘉麻市教育振興基本計画)

嘉麻市教育委員会では平成21年度を初年度とし、平成23年度を目標年度とする3ヵ年の計画として、嘉麻市における教育の振興のための施策に関し基本的な事項を定めた「嘉麻市教育アクションプラン」を策定しました。

3年間を通じて嘉麻市教育委員会が目指す姿として、次の4つの基本目標を掲げ、教育行政を総合的に推進します。

- 一、 未来を拓〈英知と豊かな創造性や個性に富み、社会の一員として公共の精神に基づ〈強い 自覚と実践力のある市民を育成すること
- 一、 真理と正義を愛し、命あるものを尊び、他者を思いやり、共に生きる心や自律心、道徳心を持 ち、人権を尊重する市民を育成すること
- 一、豊かな感性とたくましく生きるための健康や体力に満ちた市民を育成すること
- 一、 文化と伝統を尊重し、それらをはぐくんできたわが国と郷土を愛する態度を養うとともに、人類の 平和と繁栄に貢献できる国際性豊かな市民を育成すること

これら4つの基本目標を達成するため、本市教育委員会は、学校教育、社会教育、文化・芸術の各分野について、6つの教育施策の柱とし、その実現に向けて施策を推進しました。

## 教育施策の6つの柱

- 1. 確かな学力をはぐくみ、個性や能力を伸ばす学校教育の充実
- 2. 豊かな人間性や志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進
- 3. 生涯学習社会の実現をめざす社会教育の推進
- 4. いきいきとしたスポーツライフの創造
- 5. 人権尊重精神を育成する教育の推進
- 6. 特色ある市民文化の創造

今回の点検・評価では、この6つの柱に基づく施策・事業を対象とし点検・評価しました。

\* 嘉麻市教育アクションプラン(平成21年度~平成23年度 嘉麻市教育振興基本計画)は以下のホームページにてご覧いただけます。

「嘉麻市教育アクションプラン」

http://www.city.kama.lg.jp···行政情報(嘉麻市教育委員会)

## <u>2. 教育委員会の取組み</u>

(1) 平成23年度教育委員会実施状況

教育委員会は教育長を含む5名の委員で構成され、会議の実施については、原則、定例会が毎月1回、また、臨時会は必要に応じて開催し、教育行政に関する重要事項等を適時適切に慎重に審議しています。教育委員会は嘉麻市教育委員会定例学校訪問実施要項に基づき年次計画で定例学校訪問を実施しています。小中学校を訪問することで、学校教育現場の状況を確認することができ、教育委員の立場から要望など意見を述べました。

◆平成23年度教育委員会開催実績

定例会 12回

・臨時会 3回 計 15回

- ◆平成23年度嘉麻市教育委員会学校訪問の実施状況
- 〇定例学校訪問(5校)

嘉麻市教育委員会が各学校における学校経営の諸課題を把握するとともに、 改善に向けた方向性について協議及び所要の指導・支援を行うことにより学 校力を向上させる取り組みです。

実施日: 平成23年10月20日(木) 学校名: 上山田小学校

平成23年10月27日(木) 牛隈小学校 平成23年11月 9日(水) 碓井小学校 平成23年11月15日(金) 稲築中学校 平成23年11月25日(火) 嘉穂中学校

#### 〇授業充実学校訪問(3校)

筑豊教育事務所が、各学校の人的管理及び運営管理の実情をもとに、授業公開を通して、学力向上に向けた取組の指導・支援を行います。

実施日: 平成23年 9月13日(火) 学校名: 山田中小学校

平成23年10月21日(金) 泉河内小学校 平成23年11月 7日(月) 稲築西小学校

#### 〇研究指定・委嘱校研究発表会(3校)

嘉麻市教育委員会が学校教育の充実と発展を目指して取り組む学校を指定 委嘱し、学校教育の充実振興に寄与する取り組みです。

実施日: 平成23年10月27日(木) 学校名: 足白小学校

平成23年11月10日(木)稲築東中学校平成23年11月11日(金)碓井小学校

# (2) 平成23年度教育委員会の会議における主な議案

番号	議案	開催日
1	嘉麻市教育委員会新型インフルエンザ対策本部設置要綱等の一部を改正する要綱について	4/5
2	嘉麻市嘉穂地区小学校統合施設の学校名称の選定結果について	5/20
3	嘉麻市学校評議員の委嘱について	5/20
4	嘉麻市学校関係者評価委員の委嘱について	5/20
5	嘉麻市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則の一部を改正する規則について	6/7
6	嘉麻市教育委員会教育委員長の選任について	7/4
7	嘉麻市教育委員会教育委員長職務代理者の選任について	7/4
8	嘉麻市学校応援したい活動表彰要綱について	7/11
9	嘉麻・飯塚・桂川地区人権・同和教育担当者研修会実行委員会設置要綱について	7/11
10	平成 24 年度使用中学校教科用図書の採択について	8/5
11	嘉麻市教育委員会点検・評価報告書(平成22年度事業分)について	8/26
12	嘉穂小学校の通学対策の具体的手法について	10/4
13	嘉麻市立学校施設の開放に関する条例施行規則の一部を改正する規則について	11/1
14	嘉麻市体育指導員に関する規則の一部を改正する規則について	11/1
15	嘉麻市スポーツ推進審議会条例施行規則について	11/1
16	嘉麻市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について	3/23
17	嘉麻市嘉穂地区小学校統合施設整備審議会条例施行規則の一部改正について	3/23
18	嘉麻市立小・中学校の少人数指導の実施に関する規則の一部改正について	3/23
19	嘉麻市公民館条例施行規則の一部を改正する規則について	3/23
20	嘉麻市体育協会補助金等交付要綱の一部を改正する要綱について	3/23

# (3) 平成23年度教育委員会の会議における協議

番号	協議	開催日
1	「2011 年非核と平和のつどい in 福岡」後援依頼について	5/20
2	嘉穂地区小学校統合に関する市議会議案について	7/11
3	嘉麻市学校給食業務の民間委託の検討及び学校給食運営の見直しについて	2/7
4	第2次嘉麻市教育アクションプランについて	3/1

# (4) 平成23年度教育委員会の会議における報告

番号	報告	開催日
1	嘉麻市教育委員会事務決裁規則等の一部を改正する規則の臨時代理について	4/5
2	嘉麻市教育センター管理規則の一部を改正する規則の臨時代理について	4/5

番号	報 告	開催日
3	嘉麻市子ども読書活動推進計画策定委員会設置規程の一部を改正する訓令の臨時代理について	4/5
4	嘉麻市立中学校卒業生の進路報告について	4/5
5	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	4/5
6	嘉麻市体育指導委員の委嘱について	5/20
7	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	5/20
8	嘉穂地区統合小学校建設基本計画等について	5/20
9	平成23年6月市議会上程議案について	6/7
10	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	7/11
11	嘉麻市教育委員会点検評価報告書(平成22年度事業分)について	8/5
12	嘉麻市嘉穂地区小学校統合施設整備審議会委員の委嘱について	8/5
13	織田廣喜美術館運営協議会委員の変更について	8/5
14	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	8/5
15	平成23年9月市議会上程議案について	9/5
16	嘉麻市嘉穂地区小学校統合施設整備(答申)について	9/5
17	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	9/5
18	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	10/4
19	平成 23 年 12 月議会上程予定議案について	11/1
20	嘉麻市学校関係者評価委員の変更について	11/1
21	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	11/1
22	平成 23 年 12 月議会上程補正予算について	12/5
23	嘉麻市立小中学校英語教育語学指導業務委託契約に関する競技審査会設置要綱について	12/5
24	第2次教育アクションプラン概要について	12/5
25	嘉麻市嘉穂地区小学校通学対策準備委員会委員について	12/5
26	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	12/5
27	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	1/6
28	嘉麻市スポーツ推進審議会委員公募要領	2/7
29	嘉麻市スポーツ推進審議会公募委員選考委員会設置要領	2/7
30	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	2/7
31	平成24年3月議会上程議案について	3/1
32	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	3/1
33	嘉麻市嘉穂地区小学校統合学校運営検討委員会設置規程の一部を改正する訓令について	3/23
34	嘉麻市要保護及び準要保護児童生徒援助費並びに特別支援教育(特別支援学級)就学	3/23
	奨励費交付認定規程の一部を改正する告示について	-, <b>20</b>
35	平成23年度教職員の人事(内示)について	3 /23

#### 3. 各種学校調査の結果

嘉麻市内各小中学校における、特別支援介助員・学級支援員等の配置状況を まとめました。平成22年度と比べ、特別支援員や介助員は3名増員、特別支 援教育補助員は3名増員、少人数指導特別教員については11名増員し、児童・ 生徒たちの学習支援環境を充実させました。

〇小中学校(全17校)における、特別支援介助員等の配置数

NO	点検·評価項目	内容	H22	H23
1	特別支援学級介助員・特別支援 学級支援員の配置	肢体不自由な児童生徒の介助や特別支援学級に在 籍する児童生徒の支援を行うために市費で雇用。	9名	10名
2	特別支援教育補助教員の配置	普通学級に在籍している特別支援の必要な児童生 徒の指導等を行うために市費で雇用。	9名	12名
3	少人数指導特別教員	少人数授業における指導を行うために市費で雇用。	12名	23名

次頁では、各小・中学校で行われた、教育課程実施状況及び教育課程編成状況調査結果(NO. 1~4)、全国学力・学習状況調査結果(NO. 5~9)を集計し、学校の取り組み・生徒たちの学習状況等について、平成22年度と平成23年度を併記して比較したものです。

学校の取り組みについては、きめ細かな指導の実施校の数が減少していますが、これは嘉穂地区等の小規模校は、児童数が極端に少なく、日常の指導そのものが、きめ細かな指導であり、調査の定義に該当しないため実施校が減少したものです。学力向上を推進するうえで、学習支援環境の充実は、児童、生徒一人一人に対する質の高い教育を行うため、重要な事業であると考えます。

平成23年度の全国学力・学習状況調査の結果(対象事業生徒:小6及び中3)では、国語科・算数科(数学科)の学力調査結果は、福岡県の平均正答率を下回っていますが、その差は、平成22年度より小学校0.6ポイント、中学校1.9ポイント向上しています。これは、少人数指導の成果の表れであると思考します。

今後は、「家庭での学習習慣」の充実や増加傾向にある「携帯電話の使用状況」の問題点等を学校と保護者が共有し、問題解決に努める必要があると考えます。

# ○小学校 12校 \*学校・児童調査から ()は平成23年度の県・国の平均値

NO	点検·評価項目	内 容	H2 2	H23
1	読み書き計算等の習熟	基礎的、基本的な知識や技能の徹底を図る 時間を設定している学校	1 2 校	1 1 校
2	組織的な習熟の取組	週時程への位置づけを行っている学校	1 2 校	1 2 校
3	発展的学習	教科学習の時間に発展的な学習を行って いる学校	9校	1 1 校
4	きめ細かな指導の実施	少人数指導(ティームティーチングを含む)を行った学校	1 2 校	10校
	内訳:分割授業	課題別・習熟度別に分割授業を行った学校	1 1 校	10校
	内訳:非分割授業	ティームティーチングによる授業を行っ た学校	1 1 校	9校
5	食習慣	朝食を毎日食べている児童 (県94.9%、国95.6%)	92. 2%	92.4%
6	自己肯定感	自分にはよい所があると思う児童 (県69.0%、国68.7%)	73.7%	66. 1%
7	家庭での学習習慣	家で学校の宿題をしている児童 (県94.0%、国93.0%)	94.6%	90.0%
8	携帯電話の使用状況	携帯電話で通話やメールをしている児童 (県28.1%、国24.3%)	29. 2%	33. 7%
9	読書の習慣	家や図書館での1日あたりの読書時間 (県31分、国32分)	3 4 分	29分

# **〇中学校 5校** \*学校・生徒調査から ()は平成23年度の県・国の平均値

NO	点検·評価項目	内 容	H22	H23
1	補充指導の実施(1)	朝や放課後における補充指導の実施学校 5 校		5 校
2	補充指導の実施(2)	長期休業中における補充指導の実施学校	5 校	5 校
3	きめ細かな指導の実施	少人数指導(ティームティーチングを含む)を行った学校	5校	5 校
	内訳:分割授業	授業 課題別・習熟度別に分割授業を行った学校		5 校
	内訳:非分割授業	ティームティーチングによる授業を行っ 5 校 た学校		5 校
4	食習慣	朝食を毎日食べている生徒 (県 91.8%、国 92.3%)	89. 2%	86.0%
5	自己肯定感	自分にはよい所があると思う生徒 (県 60.4%、国 61.4%)	61.0%	60. 2%
6	家庭での学習習慣	家で学校の宿題をしている生徒 (県 81.6%、国 80.8%)	79.3%	75. 7%
7	携帯電話の使用状況	携帯電話で通話やメールをしている児童 (県 55.6%、国 51.8%)	54.0%	64.1%
8	読書の習慣	家や図書館での1日あたりの読書時間 (県 24分、国 26分)	26分	27分

# 4. 事業別評価結果

# 〇重要課題1 確かな学力をはぐくみ、個性や能力を伸ばす学校教育の充実

施策の内容	番号	事業名	Α	В	С	D
	1	35人学級推進事業	0			
(4)Th ( 1, 1, 2)   0 th ( 0, 1, 1, 0)   Th ( 1, 2, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1,	2	学校提案型学力向上事業		0		
(1)確かな学力の向上のための取組みの推 進	3	研究指定校補助事業		0		
~=	4	学力向上推進事業		0		
	5	教育課程実施状況評価事業		0		
(2)個性や能力を伸ばす教育の充実	6	補助教員配置事業		0		
(2)個ほど能力を呼ばり 教育の元夫	7	特別支援教育総合推進事業	0			
(3)社会の変化に対応する教育の充実	8	情報教育支援事業		0		
	9	情報機器整備事業		0		
	10	英語コミュニケーション能力の育成事業		0		
   (4)信頼される教員の確保と研修の充実	11	教職員研修事業		0		
(子)后根で10分類の確体と明修の元夫	12	教職員人事配置事業		$\circ$		
	13	奨学資金貸付事業		0		
	14	幼稚園就園奨励費交付事業	0			
	15	嘉穂地区小学校統合審議会運営事業	0			
(5)安心して学べる学校づくりの推進	16	嘉穗地区小学校統合施設整備事業	0			
	17	学校施設維持管理整備事業	0			
	18	学校防犯体制整備事業	0			
	19	大隈城山校運営事業	0			
(6)地域に開かれた学校づくりの推進	20	学校関係者評価事業		0		
(7)小中一貫教育への取り組み	21	小·中学校連携事業		0		

# ○重要課題2 豊かな人間性や志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進

施策の内容	番号	事業名	Α	В	С	D
	22	道徳教育推進事業		0		
(1)道徳性と自立心を養う心の教育の充実	23	キャリア教育推進事業		0		
	24	ボランティア活動推進事業		0		
(2)健やかな心身をはぐくむ健康教育の充実	25	学校保健事業	0			
	26	学校給食事業	0			
	27	青少年健全育成事業		0		
(3)家庭・地域・学校における読書活動推進	28	読書活動推進事業		0		
(4)いじめ・不登校問題等の解決に向けた体	29	いじめ総合対策推進事業		$\circ$		
制の充実	30	不登校対策事業		$\circ$		
(5)家庭・地域の教育力を高める支援体制 の充実	31	学社連携·融合事業		0		
	32	地域教育資源活用事業		0		
	33	地域における家庭教育支援基盤形成事業	0			

# ○重要課題3 生涯学習社会の実現をめざす社会教育の推進

施策の内容	番号	事業名	Α	В	O	D
	34	社会教育関係団体等育成事業		0		
	35	指導者の養成及び各団体の育成、活性化事業		0		
(1)生涯学習関係機関、団体との連携・協力体制の整備	36	ボランティア事業	0			
14. 11.3 < > TE NW	37	公民館・分館等の連携強化推進事業		0		
	38	分館及び自治公民館等活動費補助事業		0		
(2)学習機会の提供及び学習成果の活用促 進	39	生涯学習推進事業		0		
	40	青少年の体験活動推進事業		0		
	41	コミュニティ活動支援事業		0		
	42	公民館等事業·講座事業		0		

# ○重要課題4 いきいきとしたスポーツライフの創造

施策の内容	番号	事 業 名	Α	В	С	D
(1)子どもたちの体力・運動機能向上の推進	43	子どもの体力・運動能力向上事業	0			
(2)多様なスポーツ参加機会の充実	44	スポーツ提供事業		0		
(3)指導者の養成と活用	45	スポーツを支える人づくり事業		0		
(4)既存スポーツ施設の効果的・効率的な管理運営	46	体育施設管理運営事業		0		
(5)総合型地域スポーツクラブの育成・支援	47	総合型地域スポーツクラブ支援事業		0		
(6)市民主導で運営するスポーツ行事の支援	48	スポーツ団体支援事業		0		

# 〇重要課題5 人権尊重精神を育成する教育の推進

施策の内容	番号	事 業 名	Α	В	С	D
(1)学校教育における人権教育の推進支援	49	人権教育推進事業		$\bigcirc$		
(2)社会教育における人権・同和教育の推	50	人権学習推進事業		$\bigcirc$		
進•支援	51	解放学級育成事業		0		

#### ○重要課題6 特色ある市民文化の創造

施策の内容	番号	事業名	Α	В	С	D
(1)文化芸術活動の推進	52	文化芸術活動推進事業		0		
		図書施設運営管理事業		$\circ$		
(2)図書館の利用促進	54	読書活動推進事業		$\circ$		
	55	図書ボランティア養成事業		0		
	56	美術館運営管理事業	0			
(3)美術館の利用促進	57	企画展事業	0			
(3) 実制 語の利用 促進	58	美術館ボランティア養成事業		0		
	59	美術教育普及事業	0			
(4)文化財の保護・継承・活用	60	歴史民俗教育普及事業	0			
(4)又10別の保護・継承・活用		文化財保護事業	0			_

# ☆点検評価表の見方☆

事業名 (予算・決算)	<b>[番号] 事業名</b> (予算: 千円 決算:	(課:	<b>係)</b> 千円)						
目 的	事業の目的について記載しています。								
事業内容	平成23年度に実施した事業について記載しています。								
H 2 3 年度 の課題と 取り組み	【課題等】 平成23年度の課題として挙げた事項及び、評価委員に指摘された事項を記載しています。 【課題等への取り組み】 上記の課題について、どのような取り組みをしたか記載しています。								
	評価項目	A	В	С	D				
	事業の必要性								
	事業の効果								
	事業の効率性								
事業の効率性 【自己評価の根拠】 事務局 自己評価に至った理由について記載しています。 評価の指標は、次のとおりです。 A:期待通り B:概ね期待通り C:課題あり D:事業の見直し要									
今後の 方向性	この事業の目標を達成するための方向性に	この事業の目標を達成するための方向性について記載しています。							
H24年度 の課題	平成24年度の課題について記載していま	<b>きす</b> 。							
『評価委員の	意見』								

点検評価会議でいただいた、評価委員の意見を記載しています。

評価委員の意見を踏まえ 教育委員会が評価します

教	育	委員	会	評	価
1/		~ >	-	н	11

今回 (前回) ( )

(1)確かな学力の向上のための取組みの推進

事業名 (予算·決算)	[1] <b>35人学級推進事業(学校教育</b> 語 (予算: 88,220千円 決算			3 8 8 <del>1</del>	-円)	
目的	少人数指導(1学級を小学校全学年及び中以下、中学校第2学年及び第3学年にあって編成する等の指導形態をいう。)により、よよって、生徒指導の充実、学力を向上させる	は 35 人 り個に応	、以下の なじた指	児童又は	生徒で	
事業内容	小学校15名、中学校8名の少人数指導特別教員を配置し、小・中学校の少人数指導を推進しています。 (平成21年度新規事業)					
H 2 3 年度 の課題と 取り組み	【課題等】	若者の	雇用の場 い人材を	も広げる	必要が	
	評価項目	A	В	С	D	
	事業の必要性	0				
	事業の効果	0				
	事業の効率性		0			
事務局自己評価	【自己評価の根拠】 少人数指導の実施により、きめ細かな指導本の学力の定着が図られるとともに、問題行生活が送られるようになりました。嘉麻市の答率より低いものの、学力テストの結果、第た学年があるなど、成果は上がっています。査の結果では、児童生徒の自尊感情も高くが見えています。少人数指導の更なる充実のが正し、小・中学校全学年30人以下の児童会成24年度より実施するため、少人数指導物	行か素。なた生物動平飯まっめ徒別も均地たて、で教でして、 だ嘉編員	少 と と と と と と は な た 国 、 市 す は 保 は で は は は は は は は は は は は は は は は は	客留プカカ育少と 着開の・向基人ま リカの リカー リカー リカー リカー リカー リカー リカー リカー リカー リカー	た平と状兆例導学均な況しをを	
今後の 方向性	小・中学校全学年30人以下の児童生徒で 少人数指導を実施し、生活面での落ち着きた 後も個に応じた指導を充実させ、嘉麻市の事 昇させるように努めます。	が学力向	]上につ	ながるよ	う、今	
H24年度 の課題	少人数指導の実施により、市費による若年なっており、授業力・指導技術の向上を図るす。					
『評価委員の						

#### 『評価委員の意見』

少人数学級での学力アップは大変評価できる。

教員の指導力アップを行うとともに常勤講師の教育、指導を行い、正式な教員になるような教育、指導を行ってほしい。

教育委員会評価	今回	Α
	(前回)	( B )

(1)確かな学力の向上のための取組みの推進

事業名 (予算·決算)	[2] 学校提案型学力向上事業(学校 (予算: 3,600千円 決算			<b>€</b> ) 543 <del>1</del>	<b>戶円</b> )
目 的	学校提案による教育課程外の事業を実施 等の活性化を図り、学力を向上させるよう			、各学校	<ul><li>地域</li></ul>
事業内容	学校提案による学校外補習学習授業、学中学校5校で実施しました。	 ዸ校創意エ	 _夫事業? 	 を小学校 	 8校、 
H 2 3年度 の課題と 取り組み	【課題等】 基礎学力が定着していない児童生徒がし増やし、学力定着度に応じた事業を実施すた取り組みを行う必要があります。今後は要があります。 【課題等への取り組み】 対象校を8校から13校に増やし、学校実施しました。	するなど、 は、全学材	児童生徒 交で積極的	徒の実態的に取り	に応じ組む必
	評価項目	A	В	С	D
	事業の必要性	0			<u> </u>
	事業の効果		0		
	事業の効率性		0		
事務局自己評価	学校提案型学力向上事業の対象校を8校 季休業中や放課後に、卒業生や地域ボラン した。小学校では基礎・基本の習熟を図り 路実現を目指した補習学習を行いました。 方、学生ボランティア等から学習の仕方や を迎える生徒たちの学習意欲の喚起につな また、宿泊合宿や弁当の日等の学校独自 上、活用の力の源を育むことにより、個々 育活動を行いました。	レティアに リ、中学校 基礎・基 さ心はまる ながりまし もの活動を	こよる補 交では33 基本の定 を聞くこ。 た。 して、	習学習を 年生を対 着が図ら とにより 、規範意	行いに ま進 れる 歌の向
今後の 方向性	学校提案による、「個に応じた学力向上を 進事業」、「学校創意工夫事業」を通して、 努めます。 また、基礎学力の定着だけでなく、個々 みを行うことで、市全体での学力向上の機	嘉麻市の マの学力定	D児童生作 定着度にお	徒の学力 合わせた	向上に 取り組
H 2 4 年度 の課題	全国学力・学習状況調査で、嘉麻市の平基礎学力が定着していない児童生徒が多く 着度に応じた事業を実施するなど、児童生 続して行う必要があります。	く見られま	ます。そ(	のため、	学力定
	意見』    しずつでも増やし、嘉麻市全校で実施する。  極的に地域との関わりを持ってほしい。	ことを期待	寺する。		
	教育委員会評価	今回		<b>B</b>	)

(1)確かな学力の向上のための取組みの推進

事業名 (予算・決算)	[3] 研究指定校補助事業(学校教育認 (予算: 2,100千円 決算:			O 0 千円	])				
目 的	研究指定事業を通して、教職員の実践的指導力の向上を図るとともに、 一人一人の資質の向上に向けた研修等への参加支援体制の整備を図りま す。								
事業内容	研究指定校を2ヵ年事業として、毎年小学校2校、中学校1校を委嘱し、 2年次に研究発表を行いました。								
H 2 3 年度 の課題と 取り組み	【課題等】 研究発表会に向け、校内研究を計画的・継続的に行い、発表会後は継続的・発展的にすすめていく必要があります。そのために、市の指導主事等を積極的に活用していくよう促す必要があります。 また、研究発表を行うことで、教職員が育成されるため、研究発表会への取り組みを推進する必要があります。 【課題等への取り組み】 教育センターに指導主事が配置されたことにより、指導主事を活用した授業改善や校内研究の活性化が図られました。								
	評価項目	A	В	С	D				
	事業の必要性	$\circ$							
	事業の効果		0						
	事業の効率性		0						
事務局 自己評価	事務局 【自己評価の根拠】								
今後の 学校長の校内研修による授業改善の意識が高まるように働きかけを行う 方向性 とともに、大学教授等を講師にした研修会の実施を促していきます。									
H 2 4 年度 の課題	校内研究を計画的・継続的に行い、発表: いく必要があります。	会後は継	⊌続的 • ∮	発展的に	進めて 				
	意見』 受けることで教師の指導力や児童生徒の学力 けることが大切である。	向上が其	明待でき	るので、	積極的				

 教育委員会評価
 今回
 B

 (前回)
 (B)

(1)確かな学力の向上のための取組みの推進

事業名 (予算・決算)	[ <b>4] 学力向上推進事業(学校教育</b> (予算: 6, 240千円 )			B 7 2 <del>1</del>	-円)				
目的	児童生徒の実態を把握・分析し、課 取組の改善を図り、自ら学び考えるな 図ることです。								
事業内容	学力実態調査を実施し、嘉麻市内の児童生徒の実態を把握し、分析を行いました。								
H 2 3 年度 の課題と 取り組み									
	評価項目	A	В	С	D				
	事業の必要性	0							
	事業の効果		0						
	事業の効率性		0						
事務局自己評価	【自己評価の根拠】 嘉麻市の平均点は福岡県の平均点を 的な取組みが必要です。しかし、学力 とに取組の評価を行い、次への改善に 向けた組織的な取り組みが見られました	実態調査から 繋いでいる学	課題を整	整理し、	学期ご				
今後の 方向性	第2次教育アクションプランでは、 継ぎ、児童生徒の実態や学力を正確に 学校内の組織的な取組みの改善を図りる	把握・分析し		•					
H24年度 の課題									
『評価委員の 最も重要な	意見』 事業である。学力向上の推進の取り組み	に一層の改善	きが必要・	である。					
	教育委員会評価	今回		<b>B</b>	)				

(1)確かな学力の向上のための取組みの推進

事業名 (予算・決算)	[5] <b>教育課程実施状況評価事業</b> (予算: 個別予算なし 決	<b>(学校教育</b> 認 :算:		<b>務係</b> ) 予算なし	, )				
目 的	学校教育の目的や目標を達成するた 教育課程について、各学校の実態に応 言を行うことです。								
事業内容	各学校の実態に応じた教育活動が行	各学校の実態に応じた教育活動が行われるよう指導助言を行いました。							
H 2 3 年度 の課題と 取り組み	の課題と								
	【課題等への取り組み】 教務主任研修会を定期的に開催し、:	指導·助言及	び相談を 	:行いまし 	ンた。 				
	評価項目	A	В	С	D				
	事業の必要性	0							
	事業の効果		0	 					
	事業の効率性		0						
事務局自己評価	【自己評価の根拠】 新学習指導要領の趣旨を踏まえた教 指導助言を行い、新学習指導要領の完 主任により円滑に行われています。 新しい学習評価の実施と併せ、各教 評価の実施など、教育課程の内容充実	記全実施に向け 対科・領域の評	ナた移行も	も、各校	の教務				
今後の 方向性	教務主任研修会等を定期的に実施し な教育課程マネジメントを促していき		)職能成县	長を図り	、適切				
H24年度 の課題	新しい学習評価の実施と併せ、各教 評価の実施など、教育課程の内容充実		『価規準の	の作成や	適正な				
	  意見』  習得したことを指導等に活用してほしし  は、教師の人材を育成する必要がある。								
	教育委員会評価	今回		<b>B</b>	)				

(2) 個性や能力を伸ばす教育の充実

事業名 (予算·決算)	[6]補助教員配置事業(学校教育課: (予算: 48,042千円 決算			538 <del>1</del>	-円)				
目 的	特別支援教育充実のための補助教員、介助員、支援員を配置し、一人一 人のニーズに応じた教育条件の整備を図ります。								
事業内容	特別支援教育補助教員12名、特別支援学級介助員2名、特別支援学級 支援員8名を配置し、一人一人のニーズに応じた特別支援教育を行いました。								
H 2 3 年度 の課題と 取り組み	【課題等】 特別支援教育全体研修会を実施し、教職員一人一人の理解を深めるとともに、各校の特別支援教育コーディネーターを中心とした特別支援教育体制づくりが必要です。その上で、巡回相談等を実施し、個別の教育支援計画等を作成し、実践していくようにする必要があります。教職員の退職者や若い教員など良い人材の確保が必要です。  【課題等への取り組み】 各校の特別支援コーディネーターを中心とした特別支援体制づくりに取り組みました。各学校の要望に応じて、補助教員、介助員、支援員を配置しました。								
	評価項目	A	В	С	D				
	事業の必要性	0							
	事業の効果		0						
	事業の効率性		0						
事務局自己評価	【自己評価の根拠】 ・ 特別支援教育についての専門的な研修を実施することができず、専門的								
今後の 方向性									
H24年度 特別支援教育についての専門的な研修を実施することにより、計画的・ の課題 組織的な支援計画を実施することが必要です。									
『評価委員の より効果を 必要である。	意見』 向上するために、補助教員の指導力をつける	ために砥	州修会等	を実施す	ことが				

教育委員会評価	今回	В
	(前回)	( B )

(2) 個性や能力を伸ばす教育の充実

事業名 (予算·決算)	[ <b>7]特別支援教育総合推進事業</b> (予算: 294千円				<b>孫</b> (孫) 2947	-円)	
目 的	保育所(園)・幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校における特別支援教育を総合的に推進することです。						
事業内容	特別支援教育連携協議会の開催、巡回相談の実施等、発達障がいを含む 障がいのある幼児児童生徒を支援しています。 (平成21年度新規事業。単年度継続の補助事業。)						
H 2 3 年度 の課題と 取り組み	<b>られるような啓発活動が必要です。</b>						
	評価項目		A	В	С	D	
	事業の必要性		0				
	事業の効果		0				
	事業の効率性		0				
事務局自己評価	【自己評価の根拠】  各学校の特別支援教育コーディネーで、就学前から中学校までの段差のなりつつあります。  また、巡回相談を実施し、専門的なの細かい指導が行われるようになって	い、教 : 指導助	敢育活動 か言を受	が展開る	されるよ	うにな	
今後の 方向性							
子どもの教育や就学についての専門的な知識を持ち、連絡・調整、情報 H 2 4 年度 の課題 収集等を行う職員の配置や、子どもの成長記録や生活の様子、指導内容に 関するあらゆる情報を記録し、必要に応じて関係機関が共有できる相談支 援ファイル等の作成が必要です。 『評価委員の意見』 今後も引き続き、個人情報等の管理に十分注意を行ってほしい。							
	教育委員会評価		7回		<b>A</b>	)	

(3) 社会の変化に対応する教育の充実

事業名 (予算・決算)	[8]情報教育支援事業 (情報教育推 (予算: 16,468千円			<b>育課:教</b> 0 3 4 千		
目 的	目 的 児童生徒がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を積極 的かつ適切に活用できるようにするため、情報教育の充実を図ります。					
事業内容	教育センターに情報教育推進教員を 応じた情報活用能力の育成、情報モラ			走の発達	段階に	
H 2 3 年度 の課題と 取り組み	【課題等】 ICT支援員の配置により、情報教学校ホームページを積極的に活用した活用力の成果規準を具体化した学習を 【課題等への取り組み】 ICT支援員を4名配置し、全学校や、情報機器を活用した授業実践や研	:情報発信や、 実施していく でホームペー	児童生4 必要があ -ジを活り	徒の情報 5ります。	機器の	
	評価項目	A	В	С	D	
	事業の必要性	0				
	事業の効果		0			
事務局	事業の効率性		0			
	自己評価 【自己評価の根拠】 4名のICT支援員の配置により、各学校の情報教育の充実に向けたサポート体制を整備し、学校ホームページを整備しました。また、児童生徒用のノートパソコンや電子黒板、地デジ化テレビの整備により、情報機器を活用した授業実践や研究を実施しています。					
今後の 方向性						
H24年度 問題解決に向けた追求活動を行うためには自分で調べ、情報収集を行う の課題 ことが必要です。そのためICTを活用した、授業改善が必要となります。						
『評価委員の意見』 現代社会において、必要不可欠な学習であるため、今後も十分な指導を行う必要がある。						
	教育委員会評価	今回 (前回)		<b>B</b>	)	

(3) 社会の変化に対応する教育の充実

事業名 (予算・決算)	[ <b>9] 情報機器整備事業(学校教育</b> (予算: 51,102千円 決			5千円)		
目 的	児童生徒の情報活用能力の育成、及び情報モラル教育の充実を図ること です。					
市内小、中、高等学校(18 校)のPC教室のパソコンリース及び保守並 事業内容 びに教育用PC(388台)及び校務用PC(274台)の保守を行い、情報教育の 充実を図ります。						
【課題等】 ・教育用PC、校務用PC及び電子黒板の利用促進を図る必要がありま  H23年度 の課題と 取り組み ・利用状況を把握し、活用度合いの低い学校については、指導し利用の促進に努めました。						
	評価項目	A	В	С	D	
	事業の必要性	0				
	事業の効果		0			
	事業の効率性		0			
事務局自己評価						
今後の 方向性	備を図ります。					
H24年度 PC教室を始めとする情報機器の利用状況を把握し、利用が低い学校に の課題 ついては、ヒアリングを行い、原因の解決に努めます。						
『評価委員の 評価委員の	意見』 意見は、ありませんでした。					
	教育委員会評価	今回		<b>B</b>	)	

(3) 社会の変化に対応する教育の充実

事業名 (予算·決算)	[10] 英語コミュニケーション (予算: 22, 265千円		(学	校教育	<b>課:教</b> 2 6 5 千	
目的	言語や文化についての体験的に理解 ョン能力を養い国際感覚を身に付けさ				コミュニ	ケーシ
事業内容	国際的な共通語として英語によるコ についての体験的理解を深めることを T)の活用による外国語活動の充実を	目的と	して、			
H 2 3 年度 の課題と 取り組み	【課題等】 ALTを各中学校区に1名配置したも柔軟に対応しており、外国語活動指導 校の教職員の指導力向上を図っていく正しい発音の習得のために、ALT 【課題等への取り組み】 ALTを各中学校区に1名配置し、実を図りました。小学校教員を対象に	算者研修 必要があ の活用を 小・中 <sup>に</sup>	会の9 あります を図る! 学校に	ミ施と併 す。 必要があ おけるタ	せて、特 ります。 <sup>小</sup> 国語教	に小学
	評価項目		А	В	С	D
	事業の必要性		0			
	事業の効果			0		
事務局	事業の効率性			0		
自己評価	【自己評価の根拠】 ALTを各中学校区に1名配置し、 を図ることができました。また、小学 会を実施し、外国語活動の充実に向け した。	校教員	を対象	に、嘉原	麻市独自	の研修
今後の 方向性	英語によるコミュニケーション能力 を深めるため、外国語教育の更なる充 組を行います。					
日24年度 の課題 各中学校区に配置しているALTを活用することにより、教職員の指導 カ向上を図り、児童生徒のコミュニケーション能力の育成を図る必要があ ります。						
	『評価委員の意見』 発音の指導が、大きな課題である。					
	教育委員会評価	<b>今</b> [ (前[	-		<b>B</b>	

(4) 信頼される教員の確保と研修の充実

事業名 (予算・決算)	[11]教職員研修事業(学校教育課: (予算: 個別予算なし 決算		系) 個別予算	算なし	)
目的	教職員及び教育研究団体等の教育研究を 各種の教育研究指定・委嘱校をはじめ、各村 校内研究の活性化を図り、教職員の資質向」	校の研究	記助成を		
事業内容	教職員研修、授業充実研修、専門研修の 言を行いました。	実施。杉	交内研修(	こおける	指導助
H 2 3 年度 の課題と 取り組み	【課題等】 教職員研修をすべて教育センターで行うでを配置し、教職員研修の更なる充実に努めて指導要請に対し、柔軟に対応し、充実を図った長中心に教職員の研修を積極的に行うでと考えます。  【課題等への取り組み】 教育センター指導主事を配置し、学校かし、柔軟に対応し、充実を図ることで、教験	ます。学っていく ことで、 らの校内	<sup>全</sup> 校から( 必要があ 子ども; 子でもっ	の校内研 らります。 たちもカ の指導要	修への がつく 請に対
	評価項目	А	В	С	D
	評価項目 事業の必要性	A	В	С	D
		_	В	С	D
車数巳	事業の必要性	_	_	С	D
事務局 自己評価	事業の必要性事業の効果	より、七 主事の記 た。また	○ ○ ②ンター を用によ こ、スク・	機能の強り、計画ールソー	化を図的・継シャル
	事業の必要性 事業の効果 事業の効率性 【自己評価の根拠】 教育センター指導主事を配置することにより、教職員研修の充実に努めました。指導 続的な授業改善に取り組むことができました。 ワーカーやスクールカウンセラーを配置し、	よ主た、 り事。教 し指を にゅう にゅう にゅう はっこう はっこう はっこう はっこう はっこう はっこう はっこう はっこ	○ 2 ンター 5 用によって 1 談・学れ 導を行いて そってい	機能の強画ー 交まきまします。	化的シ機また、
自己評価 今後の	事業の必要性 事業の効果 事業の効率性 【自己評価の根拠】 教育センター指導主事を配置することにより、教職員研修の充実に努めました。指導意続的な授業改善に取り組むことができました。フーカーやスクールカウンセラーを配置し、制の充実を図りました。 公開授業の日程を集約、積極的に学校訪問5年経過未満の教員の授業力向上に向けた、教育センターに指導主事を配置し、教職	よ主た、 問員 機ののま育 、導修ののま育 、導修ののま育 の	ンタにス・ ・	<ul><li>機り一交</li><li>おき育</li><li>が数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li><li>大い数</li></ul>	化的シ機まってで

教員の指導力や熱意が児童生徒へ良い影響を与えるため、研修会等を実施し、スキルアップを図ることを望む。

教育委員会評価	今回	В
	(前回)	( B )

(4) 信頼される教員の確保と研修の充実

事業名 (予算·決算)	[12] 教職員人事配置事業(学権 (予算: 個別予算なし	<b>交教育課:教</b> 決算:		算なし	)
目 的	教職員の交流を図り、人事の適正化まえ、学校間格差をなくす人事配置を の推進の観点から小・中学校の人事交	実施します。	さらに		
事業内容	地域の実態を踏まえ、学校間格差を 校の人事交流を行いました。	なくす人事画	記置を実施	施し、小	・中学
H 2 3 年度 の課題と 取り組み	【課題等】 年齢構成のバランスに配慮した人事 数内となるような計画的な人事配置が て、教員養成系の大学との連携を図っ 人事配置は重要な事業であると思う ます。 【課題等への取り組み】 嘉穂地区の小学校の統廃合を控えて た人事配置を実施しました。	が必要です。ま ていく必要が ので、しっか	きた、講覧 あります いり取り糸	師の確保 -。 組む必要	に向けがあり
	たべ事能量を失応しよした。   評価項目	A	В	С	D
		0			_
	事業の効果		0		
	事業の効率性		0		
事務局自己評価	【自己評価の根拠】 年齢構成のバランスに配慮した人事 配置を希望していましたが、小学校の だったため、小学校において、新規採 しかし、地域の実態や年齢構成に配 を実施しました。	)教職員が過算 用教職員を配	〕(定数を にしてきま	を超える Eせんでし	状況) した。
嘉穂地区小学校の統廃合により、平成26年度には小学校の教職員数が 定数を上回る状況になります。学校格差をなくす人事配置の実施とともに、 今後の 教職員数が定数内となるような計画的な人事配置が必要となります。					
H 2 4年度 平成 2 6年度の嘉穂小学校開校に向け、教職員数が定数内となるような の課題 計画的な人事配置が必要です。					
	教育委員会評価	今回		<b>B</b>	)

(5) 安心して学べる学校づくりの推進

	(0) 3	人心し (子	011		> 1 IT Y	
事業名 [13] 奨学資金貸付事業 (学校教育課: 庶務係) (予算·決算) (予算: 24, 240千円 決算: 21, 361千円)						
目的	経済的な理由により就学が困難な人に ります。	対して、経	済的な1	負担の軽	減を図	
<ul> <li>- 嘉麻市奨学資金貸付に関する業務(貸与中の人数:46人)</li> <li>- 嘉麻市奨学資金返還に関する業務(返還中の人数:173人)</li> <li>- 福岡県財団奨学金申請受付業務</li> <li>- 地域改善対策奨学資金返還免除申請受付(受付件数:66件)</li> </ul>						
【課題等】 ・就学困難な家庭の支援を拡大し、併せて返還金の収納率を向上するための制度を確立しなければなりません。 ・一元的に奨学生のデータを管理するために、システムの運用開始を行い、滞納者への督促を積極的に行う必要があります。 【課題等への取り組み】 ・条例改正を行い、定数以上の募集があった場合は、必要に応じて予算の範囲内で奨学生を採用することとしました。 ・電算システムにより、奨学生等の情報を一元的に管理する体制を整備しました。						
	評価項目	A	В	С	D	
	事業の必要性	0				
	事業の効果		0			
事務局	事業の効率性			0		
自己評価	【自己評価の根拠】 嘉麻市奨学金返還の収納率は、平成 22 50.3%と約4ポイント上昇しました。また することで、滞納者に対して効果的な督修	、一元的に	整理し	たデータ	を活用	
今後の 方向性 経済的な理由により、就学が困難な家庭の支援を引き続き実施するとと もに、返還能力がある滞納者に対し、法的な措置を含めた徴収の強化を図 ります。						
H24年度 督促等を随時行い、滞納を未然に防ぐとともに、滞納者への納付相談等 の課題 を実施し、滞納者や滞納額の増加を抑制する必要があります。						
	教育委員会評価	今回 (前回)		<b>B</b>		

(5) 安心して学べる学校づくりの推進

事業名 (予算·決算)	[ <b>14] 幼稚園就園奨励費交付事業</b> (予算: 37,731千円				-円)	
目的	目 的 子育て期の保護者に対して、経済的な負担を軽減します。					
事業内容	・私立幼稚園の設置者が当該幼稚園に在園する保護者に対して保育料の 減免措置を行った額を補助しています。					
H 2 3 年度 の課題と 取り組み	【課題等】 国の施策であり、国の補助基準額に基づき、補助を実施しています。国からの補助率は1/3であるため、補助基準額や申請者数が増加することにより市の負担額が増加します。 【課題等への取り組み】 国の基準により、補助金の交付を実施しました。					
	評価項目	A	В	С	D	
	事業の必要性	0				
	事業の効果	0				
事務局	事業の効率性	0				
自己評価	【自己評価の根拠】 国の補助基準に基づき、速やかに できました。	補助金の交付	事務を	実施する 	ことが	
今後の 方向性	保護者自用の終表を完正する。とを目的とした国庫独切制度であり、手台					
H24年度 の課題	・・・・・・   かんの種助楽は1/3であるため - 種助基準額や田請者数が増加することに					
『評価委員の意見』 評価委員の意見は、特にありませんでした。						
	教育委員会評価	今回		A		

(5) 安心して学べる学校づくりの推進

		علاد الله			
事業名	[15]嘉穂地区小学校統合審議会運営 (小学校開校準備		学校開	<b>交準備</b> 係	<b>(</b> *)
(予算・決算)	(予算: 230千円 決算:		22	9千円)	
	嘉穂地区の5小学校(大隈小、宮野小、足				
目的	1つの新設小学校に統合するため、統合小学			_	
	するために、PTA及び地域代表者により∜ することです。	構成され	る番譲	会を円滑	に連宮
	平成22年4月に次の3つの諮問内容につ	ついて審	<u></u> 議しまし	<u></u> た。	
	[諮問1]小学校統合施設の基本設計の内容について				
市娄山宏	[諮問2]小学校統合施設の学校名称の選定引	手法につ	いて		
事業内容	[諮問3]統合後の通学対策の具体的な手法に	こついて			
	平成22年度に引き続き、審議を行い、	平成23	年8月	こ答申を	いただ
	きました。				
	【課題等】				
H 2 3 年度	平成23年度中に答申をいただき、嘉麻市	及び嘉麻	市教育	委員会の	方向性
の課題と	を決定することが課題です。				
取り組み	【課題等への取り組み】   平成23年8月に審議会から答申を得まし	<del>t</del> -			
	一 一	<i></i>			
	評価項目	A	В	С	D
	事業の必要性	0			
	事業の効果	0			
	事業の効率性	0			
事務局	【自己評価の根拠】				
自己評価	小学校統合に関しては、市民と協働による				
	いくことが嘉麻市教育委員会の基本方針でる す。	のり、音	一球云と	/  励・我   よ	里安じ
	・ 事業の効果については、答申の基本設計(	の内容か	ら工事	費の予算	措置、
	学校名称から条例改正、通学対策の具体的な				
	の設置を行うなど概ね期待通りです。また、	、効率性	につい	ても、期	待通り
	の事務進捗でした。				
今後の	通学対策の具体的な計画、跡地利活用、	校章・校	歌等に	ついて審	議会で
方向性	方向性を決定していきます。				
刀叫压	万円性を決定していさます。				
刀叫庄		1ナ1ルエルブ	- 田		88 <del>+ + -</del>
H24年度	審議会運営の外、通学対策準備委員会、記				

#### 『評価委員の意見』

意見収集のために、徹底した市民との意見交換会の開催については評価できる。今後、通学路の安全確保と跡地利活用を望む。

教育委員会評価	今回	Α
	(前回)	( B )

(5) 安心して学べる学校づくりの推進

事業名 (予算·決算)	[16] 嘉穂地区小学校統合施設整 (嘉穂小学校 (予算: 580,509千円	開校準備室・						
目的	嘉穂地区にある5つの小学校を1つ 合施設(「嘉穂小学校」と名称決定。)(			_				
事業内容	・用地取得業務 9筆 約26,000㎡(農振除外、農地転用、用地交渉、用地取得) ・実施設計、開発行為 ・造成工事							
H 2 3 年度 の課題と 取り組み	【課題等】 平成23年度中に用地交渉を完了させ、造成工事に着工することが課題です。 【課題等への取り組み】 平成23年8月に用地取得議案議決、同年9月に登記を完了しました。 また、平成24年3月に造成工事に着工しました。							
	評価項目	A	В	С	D			
	事業の必要性	0						
	事業の効果	0						
	事業の効率性		0					
自己評価	事務局 目己評価の根拠】							
今後の								
H24年度 造成、建設等の早期の工事契約及び円滑な工程監理並びに財源確保等が の課題 課題です。								
『評価委員の意見』 評価委員の意見は、ありませんでした。								
Ę	教育委員会評価 今回 A							
	(前回)		(В	)				

(5) 安心して学べる学校づくりの推進

事業名 (予算·決算)	[ <b>17] 学校施設維持管理整備事業</b> ( (予算: 134,688千円 決算				-円)			
目 的	すべての児童、生徒が安心して学習に取り組むことができる校舎等の維 持管理を行い、快適な教育環境の整備を図ります。							
事業内容	市内小、中学校 17 校 (小学校 12 校、中学校 5 校) の施設整備及び維持管理 ・施設修繕及び補修工事 扇風機設置工事(全校) 3 O 人学級に伴う施設整備(下山田小学校・稲築東中学校) ・施設維持管理業務委託 (草刈、清掃、樹木剪定、浄化槽維持管理、電算機器保守等)							
【課題等】 H 2 3 年度 の課題と 取り組み 【課題等への取り組み】 緊急性の高いものから施設整備を実施し、安全性の確保に努めています。								
	評価項目	A	В	С	D			
	事業の必要性	0						
	事業の効果	0						
	事業の効率性	0						
自己評価	事務局 自己評価 安心で安全な教育環境を整備するために必要な事業です。 平成22年度に耐震化が完了、今年度は、扇風機の設置や30人学級編に伴う施設整備、駐車場の整備等を実施しました。 引き続き安心、安全な環境整備を優先的に実施していきますが、経年に化による修繕箇所の増加は著しく、今後は、計画的な大規模改修工事のによが必要となります。							
今後の 方向性	大規模改修工事のための調査、検討を行い、年次計画的に 1 校ずつ実施します。							
自動車社会により、市内小中学校において慢性的な駐車場不足が起こっ H24年度 の課題 駐車場の整備が必要です。								
『評価委員の意見』 評価委員の意見は、ありませんでした。								
教育委員会評価 今回 A								

(5) 安心して学べる学校づくりの推進

事業名 (予算·決算)	[ <b>18] 学校防犯体制整備事業(学</b> (予算: 5,719千円)			•	-円)			
目的	児童生徒の安全管理のため、学校安全に関する取り組みの充実を図ります。							
事業内容	学校支援員(警察OB)を配置し、警察等関係機関と連携して生徒指導上の支援を行っています。地域学校安全推進員(スクールガードリーダー)による校内の定期的な巡回や見守り、安全マップの作成、防犯メールの配信により、学校の安全体制の整備充実を図りました。							
H 2 3 年度 の課題と 取り組み	【課題等】 防犯メールの登録者数が増加してきま 学校で保護者への啓発を行い、登録者数 【課題等への取り組み】 防犯メール登録者数増加のため、防犯	枚を増やして	いく必要	ぎがありま	₹す。			
	評価項目	A	В	С	D			
	事業の必要性	0						
	事業の効果	0						
	事業の効率性		0					
事務局自己評価	【自己評価の根拠】 学校支援員、スクールガードリーダーより、学校防犯体制の整備は進んでいるとの連携により、迅速な生徒指導対応生徒の問題行動が発生し、生徒指導の行しました。 しかし、筑豊教育事務所管内での器を後を絶たないため、防犯体制の更なるを	ます。学校支 ができました 徹底のために 物破損事案の	援員と :。また、 :学校支 : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	警察等関 、稲築中 援員1名	係機関 学校で を増員			
今後の 方向性	生徒指導問題や不審者の増加など、防犯体制の更なる充実が必要であり、 今後も引続き学校安全に関する取組を継続します。また、防犯メールの普 及により、地域への防犯意識を深めていきます。							
H24年度 の課題 全国で登下校中の児童生徒が巻き込まれる事故が相次いでいます。通学 路の安全点検、危険箇所の改善要望等を行い、児童生徒が安全に登下校で きるよう対策を講じる必要があります。								
『評価委員の意見』 不審者情報が多いため、今後も警察等との連携を取り、さらなる通学路等の安全確保を 望む。								
	教育委員会評価	今回		Α				

A:期待通り B:概ね期待通り C:課題あり D:事業の見直し要

(前回)

(5) 安心して学べる学校づくりの推進

事業名 (予算・決算)       [19] 大隈城山校運営事業(学校教育課: 庶務係)         (予算・決算)       32,403千円 決算: 30,266千円)         ※情報機器整備事業費を除く									
目的	すべての生徒が安心して、学習に取り組めるように、校舎等の維持管理 を行い、快適な教育環境の整備を図ります。								
事業内容	<ul><li>・大隈城山校の施設整備及び維持管理(建築年度:昭和61年度)</li><li>・事務職員及び非常勤講師の雇用(生徒数:定数120人 在校生79人)</li></ul>								
H 2 3 年度 の課題と 取り組み	【課題等】         年次計画的に老朽化した施設の整備を実施します。         大隈城山校の特色をもっと地域にアピールすることが必要です。 【課題等への取り組み】         施設整備では、老朽化が著しい卓球室及び倉庫を新築し、教育環境の整備を行いました。また、嘉麻シティマラソンへの参加や地域清掃のボランティアを行うなど、積極的に地域との交流を行っています。								
	評価項目	A	В	С	D				
	事業の必要性	0							
	事業の効果	0							
事務局	事業の効率性	0							
自己評価	自己評価 【自己評価の根拠】 大隈城山校は、地域の高等教育機関の教育の場として大きな役割を果ましています。今年度は老朽化した卓球室の新築工事を行うなど、生徒の校生活環境の充実を図ることができました。今後も老朽化した施設の整定を継続的に実施し、安心、安全な教育環境の維持に努めます。								
今後の 方向性	生徒が、快適な環境の中で落ち着いて学 な教育環境の整備を実施します。	習に望め	るようロ	こ、安心	、安全				
H24年度 の課題 引き続き、年次計画的に老朽化した施設の整備が必要です。									
『評価委員の意見』 生徒たちが様々な地域の活動に参加していることは、大変すばらしいことであるため、 そのことを広く住民等に周知してほしい。									
教育委員会評価 今回 A									

A:期待通り B:概ね期待通り C:課題あり D:事業の見直し要

(前回)

( A )

(6) 地域に開かれた学校づくりの推進

事業名 (予算・決算)	[ <b>20] 学校関係者評価事業(学校教</b> (予算: 784千円 決算			3 1 5 <del>1</del>	-円)			
目 的	教育活動等の成果の検証とその客観性・透明性の確保を通じて学校運営 の改善と発展を目指します。							
事業内容	保護者、地域住民等の連携強化のために学校関係者評価を全校で実施し、 評価結果を公表しています。							
H 2 3 年度 の課題と 取り組み	【課題等】 ICT支援員の配置により整備された学校HPでの学校評価の結果・改善策の公表を推進していく必要があります。 【課題等への取り組み】 学校関係者評価を全校で実施し、学校HPで結果を公表しています。しかし、学校HPで公表を行っていない学校もあるため、今後はすべての学校で							
	結果を公表をしていきます。   評価項目	A	В	С	D			
			D		D			
	事業の効果	-	0					
事務局	事業の効率性		0					
自己評価 【自己評価の根拠】 すべての学校で学校関係者評価の実施・公表・報告が行われましたが、 表の方法や内容については更なる工夫が必要です。また、評価項目にて ても、各学校の重点施策に併せた絞込みが必要です。								
今後の 方向性	年度初めにおける学校経営方針等の保護 価の結果の公表について、ホームページを2							
H 2 4年度 の課題	- 「早校関係者評価を全校で実施」「早校評価結果」の乗第の公表を早校HP」							
『評価委員の意見』 評価委員の意見は、ありませんでした。								
教育委員会評価 今回 B								

(7)小中一貫教育への取り組み

事業名 (予算·決算)	[21] <b>小・中学校連携事業(学</b> (予算: 個別予算なし	<b>校教育</b> 決算		<b>女務係)</b> 個別予算	算なし	)	
目的	研究開発校や構造改革特区における小中一貫教育の取り組みの成果を踏まえつつ、カリキュラム区分の弾力化など小中間の連携・接続を改善する ための仕組みについて種々の観点に配慮しつつ十分に研究していきます。						
事業内容	小中間の教職員の人事交流や共同研究を通して、小中連携を推進してい ます。						
H 2 3 年度 の課題と 取り組み	【課題等】 交換交流授業や9ヵ年間の教育課程編成を行うなど、より小中連携を充実させていく必要があります。 人事交流ができなかった原因を見極め、取組みを進める必要があります。また、中一ギャップを解消できるような取組みを実施することが大切です。 【課題等への取り組み】 小中間の教職員の人事交流を実施しました。小中連携に向けた各中学校区での取組の推進を図るようにしました。						
	評価項目		A	В	С	D	
	事業の必要性		0				
	事業の効果			0			
事務局	事業の効率性			0			
自己評価	【自己評価の根拠】 小中間の教職員の人事交流を実施しました。 嘉麻市を4つのブロックに分け、小中連携に取組む組織作りを行い、授 業内容の連携を通して、小中連携教育を推進していきます。						
今後の 方向性	小中連携教育や小中一貫教育のあり方について、嘉麻市教育委員会とし ての基本的な考え方や、方策を取りまとめる必要があります。						
H24年度 の課題	小中学校が協力し、初等教育(一般の小学校で行われている教育)と前 東中等教育(一般の中学校で行われている教育)の課程を調整し、小学校 と中学校がより連携しやすい環境作りをするため、小中連携教育等基本方 針策定の準備を進めます。						
『評価委員の意見』 小中一貫校の設置は、十分に調査、研究、検討をし、慎重に進めることを望む。							
	教育委員会評価 今回 B						

## ○重要課題2 豊かな人間性や志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進

(1)道徳性と自立心を養う心の教育の充実

事業名 (予算・決算)	[22] 道徳教育推進事業(学校教 (予算: 個別予算なし 2		<b>务係)</b> 個別予算	算なし	)		
目的	学校における道徳の時間の充実を図るとともに、家庭や地域社会との連携を図りながら、豊かな自然・社会体験を通して児童生徒の内面に根差した道徳性の育成を図ります。						
事業内容	学校における道徳の時間の充実を図るとともに、家庭や地域社会との連 携を図りました。						
H 2 3 年度 の課題と 取り組み	【課題等】 新学習指導要領に即した道徳の学習の時間が、適切に実施、充実するように、指導・助言を繰返し行っていく必要があります。また、学習参観の機会を活用し、道徳の学習の時間を公開し、家庭と連携して「心の教育」を進めていく必要があります。学校できちんとした道徳教育の指導を行い、道徳教育の授業参観を行う必要があります。  【課題等への取り組み】 市内小・中学校において、道徳教育副読本の整備を行いました。ほとんどの学校で道徳の学習時間の授業参観を実施しました。						
	評価項目	A	В	С	D		
	事業の必要性	0					
	事業の効果		0				
事務局	事業の効率性		0				
自己評価	【自己評価の根拠】 市内小・中学校において、道徳教育 した道徳教育の充実に努めました。 ほとんどの学校で、道徳の学習時間の				を活用		
今後の 方向性	学校における道徳の時間を充実させるとともに、授業参観で道徳の授業 を公開するなど、家庭や地域社会との連携を図ります。						
H24年度 の課題							
『評価委員の意見』 学校できちんと道徳教育の指導を行うべきである。							
教育委員会評価 今回 B (前回) (B)							

## ○重要課題2 豊かな人間性や志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進

(1)道徳性と自立心を養う心の教育の充実

事業名 (予算・決算)	[23] キャリア教育推進事業(特) (予算: 個別予算なし		<b>教務係</b> 個別予算		)			
目的	家庭や地域と連携して、職業・職場体験活動等を行い、児童生徒一人一 人のキャリア発達を支援し、望ましい勤労観、職業観を育てます。							
事業内容	市内の中学校において、総合的な学習の時間の中で、職場体験を実施しました。							
H 2 3 年度 の課題と 取り組み	あります。							
	評価項目	A	В	С	D			
	事業の必要性	0						
	事業の効果		0					
事務局	事業の効率性		0					
自己評価	【自己評価の根拠】 職場体験学習を市内の全中学校で実施し、生徒の職業観や進路選択に向けた意識に変容がみられるなど、期待通りの効果が上がっています。一方、体験場所の校区内・市内での掘起しにはまだ検討の余地があり、地域とのつながりがまだ薄い状況です。							
今後の 方向性								
H24年度 校区内・市内の協力事業所を開拓し、実施することで、地域と連携した の課題 活動にする必要があります。								
『評価委員の意見』 この事業の目的は、素晴らしいものである。								
教育委員会評価 今回 B								

(1)道徳性と自立心を養う心の教育の充実

事業名 (予算·決算)	[24] ボランティア活動推進事業 (予算: 個別予算なし		<b>育課:教</b> 個別予算		)			
目 的	家庭や地域社会と連携して、児童生徒が他の人々や社会のために役立つとともに自分が価値のある存在であることを実感し、よりよく生きるための道徳的実践力の育成を図ります。							
事業内容	市内全小中学校において、ボランティア活動を計画的に実施しました。							
H 2 3 年度 の課題と 取り組み	【課題等】 各学校のボランティア活動の様子を学校ホームページや学校通信等で公表していくことで、地域や家庭の協力を得るなど、地域社会と連動した活動にしていく必要があります。また、地域の人材を活用した事業を推進しなければなりません。 【課題等への取り組み】 各学校のボランティア活動の様子を、家庭や地域に積極的に発信していくようにしました。							
	評価項目	A	В	С	D			
	事業の必要性	0						
	事業の効果		0					
事務局	事業の効率性		0					
自己評価	【自己評価の根拠】 地域の清掃活動、河川清掃、赤十字 ランティア活動を実施しており、各学 してきています。							
今後の 方向性	地域社会の活動と連動したボランラ す。	ティア活動の	実施を排	進進して	いきま			
H24年度 の課題								
『評価委員の意見』 評価委員の意見は、ありませんでした。								
	教育委員会評価	今回		В				
		(前回)		( B )	)			

(2)健やかな心身をはぐくむ健康教育の充実

事業名 (予算・決算)	[ <b>25] 学校保健事業(学校教育</b> (予算: 22,914千円			20,	8 1 5 <del>1</del>	-円)	
目 的	家庭、地域及び関係機関等の連携・協力により、児童生徒及び教職員の 心身両面にわたる健康管理の徹底を図ります。						
事業内容	児童生徒、教職員の健康診断を実施。市内の小中学校に学校医、学校歯科医、学校薬剤師を配置し、児童生徒の保健、安全に関する指導を行いました。 各学校において学校保健・安全に関する年間計画を作成し、適切に実施するよう指導助言を行いました。						
H 2 3 年度 の課題と 取り組み	【課題等】 個人情報の点から、要治療者の経過については取扱に注意しつつ、各学校において充分な健康管理を行います。 【課題等への取り組み】 要治療者の経過については取扱に注意しつつ、各学校において充分な健康管理を行いました。						
	評価項目		A	В	С	D	
	事業の必要性		0				
	事業の効果		0				
事務局	事業の効率性			0			
自己評価	【自己評価の根拠】 学校保健安全法に定められた健康診 医、学校歯科医、学校薬剤師を配置し 進が図られています。						
今後の 方向性	法令により実施しているものであり	、今後 <sup>:</sup>	も引続	き実施し	ていき	ます。	
H24年度 の課題							
『評価委員の意見』 評価委員の意見は、ありませんでした。							
	教育委員会評価	今			<b>A</b>	)	

(2)健やかな心身をはぐくむ健康教育の充実

事業名	[26] 学校給食事業(学校教育課:学	学校給食	(係)		
(予算・決算)	(予算:226,221千円 決算:	223,	31	3 千円)	
目的	学校給食を受ける児童生徒等が、安全・ とともに、食に関する正しい理解と、適切な				られる
事業内容	学校給食は、児童生徒の健康の増進、体位、体力の向上に資するとともに食事をとおして児童生徒に生きた知識や、望ましい生活態度を習得させる学習の場であり、嘉麻市内全小中学校において完全給食を行いました。 年間給食回数185回を基準に実施し、1日約3,700食の調理提供を行いました。				
H 2 3 年度 の課題と 取り組み	<ul> <li>【課題等】</li> <li>○保護者の公平な給食費負担を目指し、収納率向上に努めます。</li> <li>○地産地消を継続推進し、利用率の向上を目指します。</li> <li>【課題等への取り組み】</li> <li>○収納率向上への取組として、未納通知や催告書の発送回数を増やすとともに、臨戸徴収も実施しました。</li> <li>○高額滞納者に対しては、納付誓約書を提出させ、分割納付を実施しています。また、前年度に実施した支払督促の申立の結果、現在、自主納付に応じている世帯もあります。</li> <li>○滞納世帯に対し、子ども手当からの差し引き徴収の依頼文書を送付。申出のあった世帯に対し引き去りを行いました。</li> <li>○カッホー馬古屏や山田活性化センター等の地元直売所を活用し、地場産の利用率向上に努めました。</li> </ul>				
	評価項目	A	В	С	D
	事業の必要性	0			
	車業の効用				
	事業の効果	0			
-t- 75 -	事業の効果		0		
事務局自己評価		(H23) <i>の</i> :22.77% <b></b> まに地元	D徴収率に で前年原 直売所を	度に比べ! 通じ地場	9.88 ポ 場産の購
	事業の効率性 【自己評価の根拠】 収納率向上への取組の結果として、現年度年度に比べ 0.76 ポイント、過年度の収納率はイントと共に上昇しました。また、地産地消の推進に関しても、例年同様	(H23) 0 : 22.77% 様に地元 比べ 5.3 置者の任 を継続し	D徴収率 6で前年原 直売イン ・務いき であま	度に比べ! 通じ地場 ト上昇しる リ、これ ます。	9.88 ポ 諸 ました。 に基づ
自己評価	事業の効率性 【自己評価の根拠】 収納率向上への取組の結果として、現年度 年度に比べ 0.76 ポイント、過年度の収納率は イントと共に上昇しました。 また、地産地消の推進に関しても、例年同校 入に努め、地場産利用率は 21.17%で前年度に 学校給食法第 4 条、義務教育諸学校の設定 く学校給食施設の維持管理及び給食の実施を 安全・安心な給食の提供、食育の充実を	(H23) 0 : 22.77% まに地元 上べ 5.3	D 徴収率 値 売 ポ で 売 で き で き で き で き で き で き で き で き で き	度に比べ! 通じ地場 ト上昇し り、これ ミす。 産地消を	9.88 ポ 産の購 ました。 に基づ 推進し

地産地消をもっと推進すべきである。日本の伝統食(伝統料理)などをメニューに入れて、日本の食文化を学習する機会を設けてほしい。

教育委員会評価	今回	Α
	(前回)	( B )

(2)健やかな心身をはぐくむ健康教育の充実

事業名 (予算・決算)	[ <b>27] 青少年健全育成事業(生</b> (予算: 3,727千円 決						
目 的	青少年の健全育成のための啓発活動並びに関係機関との連携・協力を図 り、青少年の非行防止に努めます。						
事業内容	嘉麻市少年相談センターを設置し、関係機関と連携しながら青少年並びに保護者等からの相談に対応しています。また、少年補導委員を委嘱し、年間延べ150回、巡回・街頭指導等を実施しました。 なお、活動は少年補導委員が組織する嘉麻市少年補導委員連絡協議会(4支部構成)で、旧自治体エリア毎に行っています。						
H 2 3 年度 の課題と 取り組み	【課題等】 少年相談センターについての周知不足及び、市少年相談センターが委嘱する補導委員は2ヵ年間(H24・H25)で嘉麻警察署少年補導員と兼務するため今後、地域割の補導委員数等を再検討する必要があります。  【課題等への取り組み】 少年相談センターについて、嘉麻市ホームページに掲載し周知を図るとともに、様々な会議に参加し、少年相談センター活動の周知を行っています。						
	評価項目		A	В	С	D	
	事業の必要性		0				
	事業の効果			0			
事務局	事業の効率性			0			
自己評価	【自己評価の根拠】 青少年の健全育成と非行の未然防止 の活動が不可欠です。現在、様々な機 行っています。事業の効率性について に活動できるよう、支援を行っていく	機関と道	連携し、 浦導委員	巡回活動 が精力的	動や情報	提供を	
今後の 方向性	今後とも嘉麻警察署等関係機関と連 の確保と少年相談センター業務の拡充				算委員( <b>中</b>	中堅層)	
H24年度 の課題	平成 24・25 年度に委嘱する少年補 割り等を嘉麻警察署と引続き協議する				の確保)	、地区	
『評価委員の意見』 少年相談センターは、重要な組織である。							
	教育委員会評価		<b>予回</b>		<b>B</b>	)	

(3)家庭・地域・学校における読書活動推進

事業名 (予算·決算)	[ <b>28] 読書活動推進事業(学校教</b> (予算: 21,845千円				5 5 4 <del>1</del>	-円)		
目 的	児童生徒の学習や読書意欲を高めるため、市立図書館や嘉麻市学校図書館協議会等との連携を図りながら、学校図書館の整備や図書司書機能の充実に努めるとともに、組織的、継続的な読書活動の推進に努めます。							
事業内容	図書館の管理運営、図書教育の指導補助、図書の受け入れ、貸し出し業務、書架の整理、廃棄業務、教科用図書関係事務等を行うため、図書司書13名を配置し、学校図書館の整備、充実を図っています。							
H 2 3 年度 の課題と 取り組み	【課題等】 全学校への図書司書の配置により、学校図書館の整備が進んでおり、各教科等において学校図書館を計画的に活用した教育活動を充実させていく必要があります。  【課題等への取り組み】 嘉穂地区小学校が統合後は、各小中学校に図書司書が配置できる人数を確保できました。各学校において、学校図書館の整備や図書司書機能の充実に努めています。							
	評価項目	A		В	С	D		
	事業の必要性	С	)					
	事業の効果			0				
	事業の効率性			0				
事務局自己評価	【自己評価の根拠】 嘉穂地区小学校が統合後は、各小中学校に図書司書が配置できる人数を確保できたことにより、学校図書館の整備状況や読書活動が不十分であった学校において、図書館の整備や読書活動の充実が図られるようになりました。朝読書や読み聞かせ等の読書活動を行うなど、組織的、継続的な読書活動の推進に努めています。							
今後の 方向性	すべての学校に図書司書を配置し、 携しながら効率的・機能的な図書館運 の蔵書数が国の基準に満たない学校が ての学校において国の基準を満たすよ	営を推進 あるため、	しま 概	₹す。ま7 {ね3ヵ⁴	た、学校	図書館		
H 2 4年度 の課題	図書館の整備や読書活動の充実が図 読み聞かせ等の読書活動を組織的、継							
『評価委員の意見』 評価委員の意見は、ありませんでした。								
	教育委員会評価	今回			<b>B</b>	)		

(4)いじめ・不登校問題等の解決に向けた体制の充実

事業名 (予算·決算)	[ <b>29] いじめ総合対策推進事業</b> (予算: 5,452千円			<b>务係</b> ) 102日	千円)			
目 的	いじめ問題の未然防止、早期発見、早期対応に向け、スクールカウンセラーの配置や教育相談室の設置を行い、いじめ問題の解決を図ります。							
事業内容	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの市費による配置 や教育相談室の設置を行い、いじめ問題の解決を図っています。							
H 2 3 年度 の課題と 取り組み	【課題等】 認知されたいじめに対しては、早期対応が行われており、深刻化していませんが、早期発見・早期対応に向けた取り組みをより充実させていく必要があります。 いじめの早期発見に努めなければなりません。また、道徳教育で心を培うことも重要です。							
	評価項目	A	В	С	D			
	事業の必要性	0						
	事業の効果		0					
事務局	事業の効率性		0					
自己評価	【自己評価の根拠】 平成23年度のいじめの認知件数は4件で、早期の対応を行った結果、いじめ問題は解消しています。 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを市費で配置し、教育相談の充実を図ることにより、いじめ問題の解決を図っています。							
今後の 方向性	いじめの早期発見・早期対応に向け す。	た組織的な	印組を充	実させて	いきま			
H24年度 の課題								
『評価委員の意見』 学校及び教育委員会は、常に情報をきちんと把握し、迅速な対応を心がける必要がある。								
	教育委員会評価	今回		<b>B</b>	)			

(4)いじめ・不登校問題等の解決に向けた体制の充実

事業名 (予算·決算)	[ <b>30] 不登校対策事業(学校教</b> (予算: 6,786千円			9 5 1 <del>T</del>	-円)			
目 的	不登校児童・生徒の学校復帰又は適	応指導教室へ	の通級を	を支援しる	ます。			
事業内容	ひきこもり訪問指導員を3名配置し、学校復帰又は適応指導教室への通 級を支援しています。							
H 2 3 年度 の課題と 取り組み	【課題等】							
	評価項目	A	В	С	D			
	事業の必要性	0						
	事業の効果			0				
	事業の効率性		0					
事務局自己評価	【自己評価の根拠】 学校から要請のあった児童生徒に対 訪問指導員が連携しながら対応していい傾向にあります。学校復帰者の増加 業の成果は出ていますが、新たな不登 2年度は109名、平成23年度は1	ヽますが、長期 □、欠席日数 <i>0</i> ೬校児童・生徒	別化してだ り減少等。 もの出現の	からの要 、不登校 こより、	請が多 対策事 平成 2			
今後の 方向性	スクールカウンセラー、スクールン 置し、嘉麻市教育センター適応指導教 善を図ります。また、小・中学校が連 ます。	室と連携しな	がら、イ	受校の角	ℤ消·改			
H24年度 の課題	- 「一」「「一」「「一」「「一」「一」「「一」「「一」「「一」「一」「一」「「一」「一」							
『評価委員の意見』 関係機関と連携して対策をとっているが、効果が出ていないのは残念である。								
	教育委員会評価	今回		<b>B</b>				

(5)家庭・地域の教育力を高める支援体制の充実

事業名 (予算·決算)	[31] 学社連携・融合事業(学校教育 (予算: 個別予算なし 決算	<b>育課、生</b>		'	)
目的	郷土を愛する豊かな心を育てるために、第 に努め、地域の教育力を活用するとともに 全体で子どもを育てることです。	· · · · · ·			
事業内容	学校に学・社連携の担当者をおき、学校 っています。	教育・社	会教育の	の相互連	携を図
H23年度	【課題等】 学校と地域の取り組みに対する認識に、 が必要です。	差異があ	るため	研修会等	の開催
の課題と 取り組み	の課題と 【課題等への取り組み】				
	人材バンクは、体験を行ってもらい、より ました。その結果、学校の利用も昨年度より				
	D	A	В	С	D
	事業の必要性	0			
	事業の効果		0		
	事業の効率性		0		
事務局自己評価の根拠】 学社連携の研修会も各学校から参加いただき、アンケート結果からも必要であるという回答を多くいただきました。しかし、学校と地域は依然隔たりがあり、その溝を埋めることが、今後必要であると思います。事業の必要性は、教育基本法や、県の教育施策にも盛り込まれています。現在、学社連携事業の中心となっているのが、人材バンク事業であり、学校へ多くの地域人材に入っていただいており、その派遣数も前年度比で大幅に増加しています。					
今後の 方向性	学社連携融合に対する学校の考え方に差別 携融合研修会を開催していきます。また、1 学校における体験活動等におけるボランテク 実践を展開していきます。	合同会議	も計画的	的に開催	し、各
H 2 4年度 の課題	本事業に対し、学校との間で認識の違いなに合同会議を開催し、考え方・方向性を合え 的な学習の時間等において、人材バンクやな を計画的に行う必要があります。	わせ、学	校行事	や生活科	• 総合
『評価委員の 人材バンク	意見』 の利用方法や内容を継続的に学校に周知すべ	きである			

人材バンクの利用方法や内容を継続的に学校に周知すべきである。

学校、地域、担当課の意見交換の場を設ける必要がある。

地域と学校の理解を深める必要がある。

教育委員会評価	今回	В
	(前回)	( B )

(5)家庭・地域の教育力を高める支援体制の充実

事業名 (予算·決算)	[ <b>32] 地域教育資源活用事業(学</b> (予算: 1, 202千円 2	.,		₹) 783 <del>1</del>	-円)	
目 的	学習指導要領の趣旨を踏まえ、各学材 し、地域社会の現状を踏まえ、児童生行域の人材や施設を生かし、教育活動を行	徒の学習に協				
事業内容	専門的な知識や経験を持っている人から話を聞いたり、技術を見せてもらったりする体験は、子どもたちの学びを深める上で、たいへん効果的であり、地域の人材を外部講師として招き、農業体験や物づくり指導を推進します。					
H 2 3 年度 の課題と 取り組み	【課題等】 地域の「ひと・もの・こと」を積極的に活用し、各学校の特色ある教育活動を行う必要があります。  【課題等への取り組み】 市内の学校に人材バンクの積極的な活用を啓発することにより、各学校の特色にあわせた外部講師を招き、教育活動を行っています。					
	評価項目	A	В	С	D	
	事業の必要性	0				
	事業の効果		$\circ$			
事務局	事業の効率性		0			
自己評価	【自己評価の根拠】					
今後の 方向性	新学習指導要領の趣旨に沿った「総1 の作成・実施をしていきます。	合的な学習の	)時間」(	の年間指	導計画	
H24年度 の課題	人材バンクの積極的な活用を啓発する 域教育資源を活用した学習を推進する必			ーチャー	等の地	
『評価委員の意見』 地域の人材や施設をもっと活用すべきである。						
	教育委員会評価	今回		<b>B</b>		

(5)家庭・地域の教育力を高める支援体制の充実

事業名	[33] 地域における家庭教育支持			社会教育	5 ( <u>%</u> )	
(予算・決算)	(予算: 352千円			™ <b>云</b> 秋 ₹ 275₹		
目 的	家庭と関係機関の連携を図り、健全 合せた諸問題解決のための講座等を実 す。					
事業内容	タッチケア体験(対象: O歳児・未就学児とその保護者)、「完璧な親なんていないプログラム」NP講座(対象:未就学児の保護者)、IPPO講座(対象: O歳児【第1子】)を実施しました。また、家庭教育に関する情報提供として、各小学校の入学者説明会や授業の活用、また社会教育関係団体との連携により多くの住民に周知します。					
H 2 3 年度 の課題と 取り組み	課題と「課題等への取り組み】					
	評価項目	A	В	С	D	
	事業の必要性	0				
	事業の効果	0				
事務局	事業の効率性		0			
自己評価	【自己評価の根拠】 子どもの学力向上、健全育成には、 欠であり、家庭の教育力の向上は急務 入学者説明会や保育園での保護者参 にくい方々にも伝えることができまし 参加者が非常に多く、より多くの保護	であります。 親日などを た。また、	舌用し、 子育て講	日常情報 座につい	が届き ても、	
今後の 方向性	引き続き子育て支援事業の実施と未 護者に対し、家庭教育全般の支援事業			_	持つ保	
H 2 4年度 の課題	子育て家庭の孤立防止のため、地域 が必要です。	ばへの意識啓	発とその	支援体制	の整備	
	『評価委員の意見』 対象者へ事業の周知や啓発活動は評価する。					
教育委員会評価 今回 A						
		(前回)		( A .	<i>'</i>	

(1)生涯学習関係機関、団体との連携・協力体制の整備

事業名 (予算・決算)	[34] 社会教育関係団体等育成 (予算: 個別予算なし	<b>事業(生涯</b> 決算:		: <b>社会教</b> 予算なし					
目 的	社会教育関係団体等の育成とその活動の充実に努めるため、各社会教育 関係団体等の自立支援及び人材(指導者)の育成を行います。								
事業内容	行政協力を目的に設立された社会教育関係団体をはじめ、各種の関係団体が自主的な会の運営や事業展開が図れるよう指導助言等支援を行っています。								
H 2 3 年度 の課題と 取り組み	【課題等】 主体的な組織運営が確立されておらず、団体の活動等もまだまだ市民に浸透していません。 【課題等への取り組み】 団体の取り組み、事業結果を広報、マスコミに取り上げてもらうなど活動の周知に努めました。								
	評価項目	A	В	С	D				
	事業の必要性	0							
	事業の効果		0						
事務局	事業の効率性		0						
自己評価	【自己評価の根拠】 各団体に統一した支援内容で対応し 度差があり、自主的な運営にも差があ り確実に組織体制が強化され、主体的 います。	りました。	しかしな	がら、前	年度よ				
今後の 方向性	特に行政協力目的の団体(市青少年 合会・市PTA連合会・市文化協会) 実現に向け、今後も社会教育関係団体 と連携強化に努めます。	を筆頭に市	民と協同	のまちづ	くりの				
H24年度 の課題	社会教育関係団体への加入促進のた	めの活動が	必要です。	,					
『評価委員の	意見』								
評価委員の意見は、ありませんでした。									
	教育委員会評価	今回		В					
		(前回)		(В	)				

(1)生涯学習関係機関、団体との連携・協力体制の整備

			بلاد کے ان ا	2.							
事業名 (予算·決算)	<b>[35] 指導者の養成及び各団体の</b>     (予算: 5,468千円	(生涯学	習課	-							
目 的	市民が自主的に活動でき、生涯学習 進に努めます。	市民が自主的に活動でき、生涯学習の推進や住民主体の地域づくりの促進に努めます。									
事業内容	団体の申請に基づき、稲築吹奏楽団、市青少年育成住民会議、憶良まつり短歌会、いなつき山笠実行委員会、民俗的伝統行事保存団体3団体(碓井地区:飯田地蔵祭り、西郷奉納すもう、上臼井神楽まつり)、市子ども会指導者連合会、嘉麻市文化協会、市PTA連合会の10団体に補助金を交付します。また、各団体の指導者等を対象とした人材養成研修会を開催し、資質の向上を図ります。										
H 2 3 年度 の課題と 取り組み	果題と										
	評価項目	A	В	С	D						
	事業の必要性	0									
	事業の効果		0								
	事業の効率性		0								
事務局 自己評価	【自己評価の根拠】 平成23年4月1日施行の嘉麻市社会を策定し、適正な補助金交付の要件等を表し、適正な補助金交付の要件等を表し、方とである。 また市青少年育成住民会議、市子どで 市文化協会については、指導者の養成を開催するなど、意欲的な事業の展開が	を設定するこ も会指導者連 も兼ねた会員	とができ 合会、市 研修会	ました。 iPTAi	重合会、						
今後の 方向性	社会教育関係団体の活動状況、組織できよう努めます。また必要に応じ、社										
H24年度 の課題	団体指導者の養成が必要です。各団体 世代交代ができない状況が見受けられる		理事の年	≅齢層が⅃	上がり、						
『評価委員の意見』 嘉麻市内には沢山の伝統行事があるので、各団体への助成を今後も引き続き実施すべき である。											
	教育委員会評価	今回		В							

(1)生涯学習関係機関、団体との連携・協力体制の整備

事業名 (予算・決算)	[36] ボランティア事業(生涯等 (予算: 43千円		会教育係	(i) (i)	<del>]</del> )				
目的	知識、技能、資格等を有する人に人材バンクに登録してもらい、生涯学 習活動支援や地域づくりに貢献していただきます。								
事業内容	市民の生涯学習活動を支援するために、仕事や趣味などを通じて身につけた知識・技術・資格等を有する人に名簿登録してもらい、学校や地域のあらゆる活動場面で、その培った経験、技術等を活かし地域に還元する「知の循環型社会」の構築を目的としています。なお、社会教育係に配置されている地域活動指導員が人材の発掘、ボランティア活用依頼先とのコーディネートを行っています。また、ボランティア登録者を対象とした資質向上のため研修会を開催しています。 *平成23年度実績:人材登録351名(個人)・116団体、派遣回数134回								
【課題等】 ボランティア登録者の高齢化が進んでいます。新たな人材の発掘、確保 が課題です。登録者の保有資格を洗い出し、学校の要請に応えられるよう 登録者要件を整理する必要があります。 【課題等への取り組み】 地域活動指導員が社会教育関係団体等へ出向き、新たな人材の発掘に努めました。また、学校等の要望に適切に応えるため人材バンク設置要綱を改正、登録者更新期間の変更や保有資格を整理しました。					るように努め				
	評価項目	A	В	С	D				
	事業の必要性	0							
	事業の効果	0							
事務局 自己評価	事業の効率性	0							
	【自己評価の根拠】 平成22年6月1日人材バンク設置 短縮や保有資格の明確化など、人材が り利用しやすい内容に更新しました。								
今後の 方向性	「知の循環型社会の構築」の確立を め、派遣の意義を活用側にもしっかり るよう努めます。								
H 2 4年度 の課題	現在、登録者の大半が高齢者であり 掘が必要です。	、若年層への	の周知と	新たな人	材の発				
『評価委員の意見』 後継者の育成が重要課題である。									
教育委員会評価 今回 A (前回) (A)									

(1)生涯学習関係機関、団体との連携・協力体制の整備

事業名 (予算・決算)	[37]公民館・分館等の連携強作 ( (予算: 14,187千円	生涯	学習課		<b>公民館保</b> 9 4 5 <del>1</del>	• • •				
目 的	各地区公民館の利用者が安心して気持ちよく学習等が行われるよう、また、地域の拠点として機能するよう、施設の維持管理を行います。									
事業内容	第2次アクションプラン策定に向け見直しを行うとともに、行政改革に 伴う施設の見直し等について検討を行います。									
H 2 3 年度 の課題と 取り組み	【課題等】 経年劣化により補修等必要な施設について、優先的に改修工事等を行いつつ、安心して利用できるよう改修計画を策定するとともに、公民館活動等の見直しと支援を行いながら、地域の活性化を図る必要があります。 【課題等への取り組み】 稲築地区公民館、下山田分館、枝坂公民館、銭代坊公民館の修繕を行うとともに、第2次アクションプランの策定に伴う見直しを行いました。									
	評価項目		A	В	С	D				
	事業の必要性		0							
	事業の効果			0						
	事業の効率性			0						
事務局自己評価	地域コミュニティの核である公民館あり、様々な支援を行いながら住民の将来の人づくり、協働のまちづくりにきます。 このことからも、今後も継続して事等も計画的に行っていき、大規模改修りながら実施していきます。	)生涯 こつなが 「業展開	学習や諸 がり、地 開を図る	活動を 地域活性 かととも	支えるこ 化が図ら こ、施設	とで、 れてい の改修				
今後の 方向性	公民館は生涯学習、また地域コミュ あるため、組織強化を図るとともに、 ていきます。また、公民館関係職員等 の機能強化も合わせて行っていきます	再構第 に専門	築しなか	ら地域	活性化に	つなげ				
H24年度 の課題	各地区の現状を把握しながら、嘉麻公民館基本計画の素案を策定するととるためにも、共通認識と共通理解を深	もに、	公民館	・分館の	の連携強	•				
『評価委員の意見』 評価委員の意見は、ありませんでした。										
教育委員会評価 今回 B										

(1)生涯学習関係機関、団体との連携・協力体制の整備

事業名 (予算·決算)	· ·	涯学習課:	中央公						
(1)	(予算: 12,959千円	<b>决算:</b>	12,	8 1 5 <del>1</del>	<u>-円)</u>				
目的	分館及び自治公民館への各種補助を を図ります。	行い地域コミ	ュニティ	ィの拠点	づくり				
事業内容	分館運営費補助、自治公民館活動費補助、自治公民館修繕料補助、自治公民館付属施設設置補助を交付します。								
H 2 3 年度 の課題と 取り組み	【課題等】     運営に関して、分館・自治公民館として役割や機能について、共通認識を持って事業展開を行い、地域活性化を図る必要があります。     【課題等への取り組み】     分館・自治公民館としての役割や機能について、再認識するとともに、組								
	織強化を図り、公民館利用者が安心し <sup>-</sup>   て補助金を交付しました。	て利用できる。	よう、運	営や活動	に対し				
	評価項目	A	В	С	D				
	事業の必要性	0							
	事業の効果		0						
			0						
事務局自己評価	【自己評価の根拠】 地域コミュニティの醸成は、地域住活動の拠点づくりのためには、支援はしかし、各種補助を行い、各地域が地域により活動に差異があります。そ十分な協議や理解がなくては進んでい討していきたいと考えます。	必要であると 公民館活動に の是正を改善	考えます 取り組ま してい	-。 まれてい くには地	るが、 元との				
今後の 方向性	公民館は生涯学習、または地域のコ 割があるため継続した運営が必要であ 組織強化を図り、後継者育成や地域活	ります。再認	認識はも	ちろんの					
H24年度 の課題	分館運営費、自治公民館活動費の補 関係職員等地域間の交流を行うことで 識や共通理解を深めていく必要があり	、地域間の差							
『評価委員の意見』 分館運営費、自治公民館活動費の補助金算出基準等の見直しを早急に行う必要がある。									
	教育委員会評価	今回		<b>B</b>					

(2) 学習機会の提供及び学習成果の活用推進

事業名 (予算・決算)	[ <b>39] 生涯学習推進事業(生涯</b> (予算: 78,863千円				• •	-円)				
目 的	職員並びに地域活動指導員の資質向上や市民ニーズを活かし、生涯学習の推進を図るとともに生涯学習施設を運営(維持管理)します。									
事業内容	社会教育委員会議及び課内会議等の開催。職員、地域活動指導員の研修会や社会教育主事の養成など関係職員の資質向上に努め、また所管施設の管理として、なつき文化ホール・嘉穂生涯学習センター夢サイトかほ・上山田住民ホール・山田市民センター・下山田小学校白馬ホール・山田生涯学習館の運営を行います。									
H 2 3 年度 の課題と 取り組み	講等、貧質の向上に努めました。また、社会教育王事講習に公民館職員を受     講させ専門性も高めています									
	評価項目		Α	В	С	D				
	事業の必要性		$\circ$							
事務局	事業の効果			0						
自己評価	事業の効率性			0						
	【自己評価の根拠】 関係職員の資質の向上に関する研修 また、施設についても市民の立場で整	•			実施しま	した。				
今後の 方向性	継続して関係職員の資質の向上に努活発に生涯学習を展開できるよう努め確にするため、教育アクションプラン着手し、各係事業の調整を行います。	ます。	また生	涯学習	課の方向	性を明				
H 2 4年度 の課題	生涯学習振興計画策定に向けた各係 の計画が必要です。	事業の	の調整と	耐震診	断など施	設整備				
『評価委員の意見』 評価委員の意見は、ありませんでした。										
教育委員会評価 今回 B (前回) (B)										

(2) 学習機会の提供及び学習成果の活用推進

事業名 (予算・決算)	[40] <b>青少年の体験活動推進事業</b> (予算: 752千円	<b>(生涯学</b> 決算:		<b>会教育</b> 6 3 9 <del>1</del>			
目的	子どもたちの自主的・自発的な体験活 上を図ります。	動を推進す	- るとと <del>-</del>	もに表現	力の向		
事業内容	社会教育関係団体が主催で行う生活体験[通学合宿]事業(山田・稲築・嘉穂の3地区)や中学生の主張大会(市内5中学校2名づつの10名)の 共催並びに社会教育主催事業としてわたしのエッセイ(約700作品)を 開催しています。						
	【課題等】 各事業の内容を充実し、より良い事業を実施する必要があります。						
H23年度 の課題と 取り組み	【課題等への取り組み】 前年度の課題を検証し、各事業とも事 た。	業内容の創	意工夫	こ取り組	みまし		
	評価項目	A	В	С	D		
	事業の必要性	0					
	事業の効果		0				
事務局	事業の効率性		0				
自己評価	【自己評価の根拠】 各事業の展開に必要不可欠な地域協力 また子どもたちの体験活動(健全育成) 育力の向上にも貢献できました。		• · · · • ·				
今後の 方向性	今後とも本事業を推進するとともに、 情勢の動向やこの分野で今後、効果が見 らより効果的に事業が展開できるよう努	込まれる事					
H24年度 の課題	事業を主催している社会教育関係団体 業への参画を依頼し、人材の確保を強化		が課題で	です。地	域 <mark>に</mark> 事 		
『評価委員の意見』 嘉麻市全域で事業の実施を推進する必要がある。							
	教育委員会評価	今回		В			

(2) 学習機会の提供及び学習成果の活用推進

事業名 (予算·決算)	[41] コミュニティ活動支援事業 (予算: 454千円	<b>業(生涯学</b> 決算:		<b>央公民</b> 2 6 4 <del>1</del>							
目 的	地域と公民館の「協働」による公民館運営の視点から関係団体や公民館を支える人たちと、公民館の新たな可能性を模索し、これからの公民館づくりを目指すネットワークの構築を図ります。										
事業内容	公民館関係者及び職員の研修会を開催し、資質の向上を図るとともに、 各地区で行われている公民館事業を支援します。										
H 2 3 年度 の課題と 取り組み	↑  とともに、地域の大人も子どもと関わることで互いにつながりを深め、地域   ↑   カの向上を図る必要があります。										
	評価項目	A	В	С	D						
	事業の必要性	0									
	事業の効果		0								
	事業の効率性		0								
事務局 自己評価	【自己評価の根拠】 今後も公民館運営には地域住民の参 の公民館を取り巻く状況を考えても、 コミュニティの再構築を行っていく上 向上は必要不可欠であります。 平成 22 年度「ひろば事業(青少年 において、地域と十分な協議・検討を び地域の方々に共通認識・理解が図ら 運べました。	重要性が増 でも、公民 育成事業)」 実施したこ	していま 館関係者 が実施で とから、	す。また 及び職員 きなかっ 公民館関	、地域 の資質 た足白 係者及						
今後の 方向性	各地区で行われている事業・活動を 動等広げていきながら、地域コミュニ を図ります。										
H24年度 の課題	公民館関係者及び職員の更なる資質 民館づくりを目指すネットワークの構 情報共有を行いながら、組織強化や地	築のために	も、研修:	会や情報							
『評価委員の意見』 評価委員の意見は、ありませんでした。											
教育委員会評価 今回 B (前回) (B)											

(2) 学習機会の提供及び学習成果の活用推進

事業名 (予算・決算)	[ <b>42] 公民館等事業・講座事業</b> (予算: 1, 130千円			<b>公民館</b> 6 8 千円				
目 的	地域住民の生活に根ざした教育・文 住民相互の交流と教養の向上、健康増 ます。							
事業内容	中央公民館 : 公民館講座、成人式、公民館関係者研修会等 嘉穂地区公民館: ときめき学習、ガーデニング講座、盆踊り講習会等 碓井地区公民館: 絵手紙講座、子ども講座、盆踊り講習会等 稲築地区公民館: エコリサイクル教室、そろばん教室、寺小屋いなつき等 山田地区公民館: 山田サルビア大学、4地区分館女性学級等							
H 2 3 年度 の課題と 取り組み	の課題と 「課題等への取り組み】							
	評価項目	A	В	С	D			
	事業の必要性	0						
	事業の効果		0					
事務局	事業の効率性		0					
自己評価	【自己評価の根拠】  公民館講座は、生涯学習の一環であにより、個々に学ばれたことが市民参コミュニティの活性化につながると考また、大人限定の講座のみならず、座を実施するなど、講座を通しての世	画という形で えています。 夏休み期間等	が地域に ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<sup>還元され</sup> を対象に	、地域			
今後の 方向性	講座を通してのふれあい、生涯学習 ちづくりの展開)と他の関係機関と連	•			り、ま			
H24年度 の課題	地域住民のニーズを把握しながら、 組みへと見直しながら、市民参画によ				一の取			
『評価委員の意見』 講座の発展のための支援を評価する。								
教育委員会評価 今回 B								

(1) 子どもたちの体力・運動機能向上の推進

事業名 (予算·決算)	[43]子どもの体力・運動能力  (予算: 3,355千円	(生涯学習詩							
目 的	市内の幼児、児童の体力・運動能力を向上させることを目的としています。								
事業内容	幼児、児童を対象とした運動教室等を開催しました。 市内公立保育所(5園)への運動教室を実施しました。								
H 2 3年度 の課題と 取り組み	【課題等】 モデル事業(鴨生、山野、碓井保育所)を実施した結果、その効果が認められるため、市内公立保育所5園に拡大する必要があります。 【課題等への取り組み】 多くの子どもたちの運動能力向上のため、市内全公立保育所で運動教室 (各園月2回)を実施しました。								
	評価項目	A	В	С	D				
	事業の必要性	0							
	事業の効果	0							
	事業の効率性 【自己評価の根拠】		0						
事務局自己評価	全公立保育所で実施した運動指導で伸びていることがわかります。また、でないクラスでは、その差が顕著に現また、保育士から見た子どもの様子るものの、全員が朝食をとって登所す積極的に体を動かすようになった等々いう多くの報告がありました。 幼児への教室ではリピーターも多く	運動指導を1れています。 の変化では、 るようになっ、子どもにも	テってい 保育所 った、運 様々な変	るクラス ごとで差 動が苦手 化が見ら	とそう 異はあ な子も れたと				
今後の 方向性	徳島大学大学院 荒木秀夫教授と連 幼児から高校生に至るまで年代ごとの 践的に普及させる"嘉麻市モデル"を 幼年期の運動の大切さを啓発するため 連載します。	運動プログラ ・構築してきる	ラムを立: ます。ま:	案し、市 た、広く	内に実 市民に				
H24年度 の課題	"嘉麻市モデル"の年代毎の運動フ 年代に広く普及させることが重要です が必要です。	_							
『評価委員の意見』 今後は、中学生や高校生を対象とした栄養学的な講座の開設を望む。									
	教育委員会評価       今回       A         (前回)       (B)								

(2) 多様なスポーツ参加機会の充実

事業名 (予算・決算)	[44] スポーツ提供事業(生涯: (予算: 722千円			<b>興係</b> ) 6 3 9 <del>1</del>	-円)			
目的	│ │ スポーツ人口の増加と市民の健康増 │	進を図ること	き目的と	こしている	ます。			
事業内容	教室等を開催するとともに、スポーツ団体一覧を作成し市内スポーツの情報提供をしました。 ※教室:バウンドテニス教室、カヌー教室、目的別シェイプアップ教室、健康運動教室、体カテスト(このほかに体育協会専門部による教室等があります。							
【課題等】 市民のニーズをどのように捉えるかが課題となります。教室終了後の振り H 2 3 年度 の課題と 取り組み 【課題等への取り組み】 ニーズを把握するために教室参加者にアンケートを実施しました。また、 情報提供を目的として「嘉麻市スポーツ団体一覧」を作成・配布しました。								
	評価項目	A	В	С	D			
	事業の必要性	0						
	事業の効果		0					
	事業の効率性		0					
事務局自己評価	【自己評価の根拠】 平成23年度は、地域活動指導員を テニス協会と共催した教室を行い、そ 目的を達成する成果があったと考えま 実施した事業の成人男性の参加率の	の後にサーク す。	ルが設立					
今後の 方向性	市民ニーズに応えられるような教室 た教室を参加者が選択できるように事			こ、自分	に応じ			
H24年度 の課題	引き続き教室の参加者、特に参加害 必要があります。	合が少ない	男性の増加	加を図っ	ていく			
『評価委員の意見』 評価委員の意見は、特にありませんでした。								
	教育委員会評価	今回		<b>B</b>				

(3) 指導者の養成と活用

事業名 (予算・決算)	[45] スポーツを支える人づく (予算: 303千円	(生涯学習課	<del>-</del>	<b>一ツ振</b> 身 3 O 2 f						
目 的	スポーツ指導者の指導力向上を図ります。									
事業内容	大学教授を講師に迎えてスポーツ指導者、スポーツ推進委員、保育所 (園)、幼稚園、教員を対象とした研修会を実施しました。 ※このほか体育協会により研修、審判講習会等が実施されています。									
H 2 3 年度 の課題と 取り組み	少要かあります。 									
	評価項目	A	В	С	D					
	事業の必要性	0								
	事業の効果 事業の効率性		0							
事務局自己評価	【自己評価の根拠】 日々進化していく運動指導においてことが、重要であると考えます。また識が増え、認識が変わった」などの声あったと判断できます。 引き続き研修等を実施し、スポーツも図っていきます。	こ、参加者アン 『も聞かれたこ	ケートだとから	から「新 も一定の	たな知 効果が					
今後の 方向性	スポーツ指導者が現場で活用できる	内容で継続的	に実施し	こていきる	ます。					
H24年度 の課題	講師、その他の事業との調整を行い 実施する必要があります。	ヽ、より多くの	人が参加	加できる	ように					
	『評価委員の意見』 評価委員の意見は、ありませんでした。									
教育委員会評価       今回       B         (前回)       (B)										

(4) 既存スポーツ施設の効率的・効果的な管理運営

事業名 (予算・決算)	[46] 体育施設管理運営事業(生 (予算: 142,622千円				~				
目 的	自主運動の場を提供し、市民の健康増進を図ることを目的としています。								
事業内容	社会体育施設の管理・運営・整備を行いました。(28施設) 国の交付金を受けて、嘉穂総合運動公園臨時駐車場の整備(路盤不陸整 正)を行いました。								
H 2 3 年度 の課題と 取り組み	【課題等】 住民のニーズを捉えて既存スポーツ施設の改善を図っていく必要があります。また、利用率の低い施設の稼働率を上げていく必要があります。 【課題等への取り組み】 嘉穂総合体育館の改修を行い、フットサルでの利用が可能になりました。 その結果、稼働率が上がっています。								
	評価項目	A	В	С	D				
	事業の必要性	0							
	事業の効果		0	_					
	事業の効率性 【自己評価の根拠】			0					
自己評価	者は、前年度 401,700 人から約3万人: このように市民のスポーツ活動の場 をもたらしたことから効果は高かった 図るために地域活性化センターへ予約 採択となりました。受付等に関して受 あり、受付を各地区の拠点施設で行わ いと考えます。	として、 ā と考えられ システムの 付台帳の-	た、市ダ ルます。 <sup>え</sup> )申請を1 -括管理 <i>が</i>	外からの交 利用者の利 ういました が出来ない	流人口  便性を が、不 状況に				
今後の 方向性	利用者の利便性の向上を図るために に改修と利活用の改善を行っていきま		緊急性	生考慮して	年次的				
H24年度 老朽施設が多いため、優先順位をつけて、計画的に改修を行っていく必 の課題 要があります。また、受付方法の利用者の利便性の向上も検討が必要です。									
『評価委員の意見』 施設の補修の迅速な対応を望む。									
	教育委員会評価	今回		<b>B</b>	)				

(5)総合型地域スポーツクラブの育成・支援

事業名 (予算・決算)	[47] 総合型地域スポーツクラ: (予算: 個別予算なし	(生涯学習謂	く 関・スポ 別予算		<b>興係)</b> )			
目的	市民のだれもが身近な場所で運動に ポーツクラブを支援育成することを目			、総合型	地域ス			
事業内容	・既存の総合型地域スポーツクラブへの用具貸出等の支援 事業内容 ・補助金等の紹介 ・教育事務所との連絡・調整							
【課題等】								
	評価項目	A	В	С	D			
	事業の必要性	0						
	事業の効果		0					
	事業の効率性 【自己評価の根拠】		0					
自己評価	市民が自主的にスポーツ活動を行えだと考えます。既存の総合型地域スポ行っており一定の効果はあるものと判型地域スポーツクラブが自主的に活動す。	ペーツクラブに  断できます。	は自主的に 効率に	に運営・ ついては	活動を 各総合			
今後の 方向性	引き続き既存総合型地域スポーツク 新規総合型地域スポーツクラブ設立に							
H24年度 の課題	引き続き総合型地域スポーツクラブ の創造を行っていく必要があります。	 『設立に向け <i>†</i>	ニーズ	—— の把握と	ニーズ			
『評価委員の 評価委員の	意見』 意見は、ありませんでした。							
	教育委員会評価       今回       B         (前回)       (B)							

(6)市民主導で運営するスポーツ行事の支援

事業名 (予算・決算)	[48] スポーツ団体支援事業(生) (予算: 7,376千円								
目 的	各種大会、団体を補助することでスポーツの振興を図ることを目的としています。								
事業内容	各種大会への補助金の支出と運営の補助を行うとともに、自主運営を行 う体育協会への補助金の支出を行っています。								
H 2 3 年度 の課題と 取り組み	【課題等】 体育協会指導者の育成を図ってもらうとともに、スポーツ人口の増加を図ってもらうよう協議していく必要があります。 【課題等への取り組み】 体育協会と協力して研修を行いました。								
	評価項目	A	В	С	D				
	事業の必要性	0							
	事業の効果		0						
事務局	事業の効率性 【自己評価の根拠】		0						
自己評価	市民が自主的に行うスポーツ活動を えられます。実施されている大会には 交流人口を生み出すという観点からも 体育協会関連事務、市民総合体育大会 を体育協会内で処理するため、事務効	県内各地や県 効果は高いと の運営、県民	:外からも : 考えられ : 体育大:	ら参加者が れます。 会に関す	があり、 また、				
今後の 方向性	継続して実施していくとともに、よ 言を行っていきます。	∶り活気のある	₿団体とフ	なるよう	指導助				
H24年度 の課題	引き続き、体育協会指導者の育成を関 ーツ人口の増加を図ってもらうよう協議				るスポ				
『評価委員の意見』 評価委員の意見は、ありませんでした。									
教育委員会評価       今回       B         (前回)       (B)									

### ○重要課題5 人権尊重精神を育成する教育の推進

(1)学校教育における人権教育の推進支援

			<b></b> :		
事業名 (予算・決算)	[49] 人権教育推進事業(学校報 (予算: 個別予算なし			算なし	)
目 的	福岡県人権教育・啓発基本指針及び づき、学校教育活動全体を通して、児 もに、自分らしさや能力を十分に発揮 く力を身につけることができるよう指	遺生徒が共生 し、人権問題	Eの心を 種を主体に	身につけ	るとと
事業内容	学校における人権教育の時間の充実	を図ります。			
H 2 3 年度 の課題と 取り組み	【課題等】 学校の教育活動全体を通して、人権 の人権を守り、他者の人権を守るため せんでした。 【課題等への取り組み】 人権意識等を育み、人権課題の解決 ために、人権に関する知的理解に加え 人権感覚は、言葉だけで教えることで かも学級の他の児童生徒たちとともに 体験することをとおす学習方法を推進 関係機関の人々をはじめ多くの人々と いきます。	の実践行動す に向けた、実 に向けた、 で の で の で で で で で で で で で で で で で が で が	で 高 力 こ き き き き き が し ま う が し ま た た た た た た た た た た た た た た た た た た	る こと か つが 重 が ま 力 り に い が に い が に い に い に い に い に い に い に い	で てでに動地
	評価項目	A	В	С	D
	事業の必要性	0			
	事業の効果		0		
± 25 C	事業の効率性		0		
事務局 自己評価	【自己評価の根拠】 道徳の学習時間の充実をはじめとし、 覚の定着の取組を行いました。その結 大切さを認めることについては、理解 況下で、児童生徒が自分で「感じ、考 動が見えはじめています。	果、自分の大 できるように	い 切さと なりま	ともに他 した。様	の人の 々な状
今後の 方向性	学校でも、人権感覚を身に付けさせる知識に止まらず、より児童生徒に 庭・地域・関係機関の人々をはじめ多 発達の段階に応じた系統的な取組を推	主体的な学習 ・くの人々と通	を可能に 連携をと	こするた	めに家
H24年度 の課題	人権課題の解決に向け、児童生徒が体的・実践的な行動をとることができ く必要があります。				
『評価委員の 学校だけで	意見』 なく地域と連携をとり、学習を行う必要	要がある。			
	教育委員会評価	今回		В	

A:期待通り B:概ね期待通り C:課題あり D:事業の見直し要

(前回)

### ○重要課題5 人権尊重精神を育成する教育の推進

(2)社会教育における人権・同和教育の推進・支援

事業名 (予算·決算)	[ <b>50] 人権学習推進事業(生涯</b> (予算: 2,492千円				•	3)	
目 的	同和問題をはじめ女性、子ども、高齢者、障がい者、アイヌの人々、外国人、HIV感染者など、人権尊重の社会の実現に向け、嘉麻市人権教育・啓発基本方針に基づき、社会教育における人権・同和教育を一層推進するために、市内の各種団体等の協力を得ながら、行政区単位地域研修会、団体・サークル等研修会、企業内人権・同和問題研修会を実施し、また、関係行政機関及び地域活動指導員(人権・同和教育指導員)との連携を図り、社会教育における人権に関する学習の推進に努めます。						
事業内容	嘉麻市の人権・同和教育の推進を図るため、嘉麻市同和教育研究協議会活動の活性化、行政区単位人権・同和問題地域研修会の開催、団体・サークル等人権・同和問題研修会の開催、企業内人権・同和問題研修会の開催を推進し、人権・同和問題に関する意識の向上を図ります。						
H 2 3 年度 の課題と 取り組み	各地区行政区及び団体・サークル等にも文書等により、人権研修会の開催						
	評価項目		A	В	С	D	
	事業の必要性		$\circ$				
	事業の効果			0			
	事業の効率性				0		
事務局自己評価	【自己評価の根拠】 人権教育・啓発の役割は、行政が取 域住民の理解協力を如何に得るのかが そのためには、市民一人ひとりが、 を深め、「差別をしない」から「差別で での行動等に確実に根付くような啓発 識の向上が期待できます。企業・団体 く開催し、住民の人権意識の向上を図	大切で 人権 をさせ を目す	です。 問題につ ない」の 旨すこと ークル等	いて正 )意識が により、 個別的	しい認識 日常生活 、住民の	と理解 のなか 人権意	
今後の 方向性	地域・企業・各団体における人権かのない社会の構築に向けた取り組みを る人権問題に係る啓発事業の一環とし っていきます。	推進し	ン、 同和	問題を	<b>まじめ、</b>	あらゆ	
H 2 4 年度	関係各課と連携により、地域・企業		団体に対	し、人材	権研修会	の開催	
の課題 をあらゆる機会を活用し推進していきます。 『評価委員の意見』 評価委員の意見は、ありませんでした。							
教育委員会評価 今回 B							

### ○重要課題5 人権尊重精神を育成する教育の推進

(2)社会教育における人権・同和教育の推進・支援

事業名 (予算·決算)	[ <b>51]解放学級育成事業(生涯学</b> (予算: 10,672千円 ※			• •			
目 的	同和問題をはじめ女性、子ども、高齢者、障がい者、アイヌの人々、外国人、HIV感染者など、人権尊重の社会の実現に向け、嘉麻市人権教育・啓発基本方針に基づき、あらゆる差別をなくすことができるよう自らの人権意識を高めていきます。また、地域住民との交流や地域活動指導員(人権・同和教育指導員)等との連携を深め、人権・同和問題についての相互理解と連携意識の高揚を図ります。						
事業内容	稲築・碓井・嘉穂地区において、解放学級・識字学級及び解放子ども会を開催し、人権・同和問題についての学習を行っています。 (1)解放学級・識字学級及び解放子ども会の開催 (2)解放学級合同研修会の開催 (3)解放子ども会合宿研修会の開催 (4)解放子ども会フィールドワークの開催						
【課題等】 解放学級生への参加者が減少しており、その対策が必要です。							
	評価項目	A	В	С	D		
	事業の必要性	0	_				
	事業の効果		0				
	事業の効率性		0				
事務局自己評価	【自己評価の根拠】 解放学級・識字学級及び解放子ども会を開催問題について更なる正しい認識と理解を深めるとの交流会を開催することで、お互いの理解と養うことができ事業効果も高いと考えます。解の連携や交流を促進することで情報の共有化かまた、小・中学生が寝食、学習、野外体験にを深めるなど、学び得ることは多く事業効果も	ることができ、 と心のつながり 解放子ども会で が図れ、更なる 話動を共にする	さらには を深め、 は、学校 事業の推進 合宿研修	、地域住月 思いやり <i>0</i> 教育や社会 <b>並が期待で</b>	民・団体 D心等を 会教育と きます。		
今後の 方向性	解放学級は現状維持をしながら今後も 解放子ども会については、稲築及び嘉	<b>喜穂地区につ</b>	いて育成				
H 2 4年度 の課題	若年層への解放学級への参加を呼びた 解放子ども会の育成及び嘉穂地区におい いきます。						
『評価委員の意見』 評価委員の意見は、ありませんでした。							
	教育委員会評価	今回		<b>B</b>			

(1)文化芸術活動の推進

事業名 (予算·決算)	[ <b>52] 文化芸術活動推進事業(</b> (予算: 718千円 決算:				當係)		
目 的	優れた芸術作品の鑑賞機会を市民に提供し、芸術活動を推進するとともに芸術鑑賞の機会を提供します。						
事業内容	第67回福岡県美術展覧会筑豊巡回展の開催 開催期間 11月8日(火)~11月13日(日)6日間 会 場 嘉麻市サルビアパーク 出展作品 日本画、洋画、写真、グラフィックデザイン 計132点						
【課題等】 多くの人に来館してもらえるよう、事業の充実と周知を図ってく必要があります。また、開催会場の検討等が必要です。 【課題等への取り組み】 美術館での開催について美術館運営協議会で意見をいただきました。チラシやポスターの配布、看板などで周知を図りました。洋画、写真の合評会開催や目録を配布するなど来場者に配慮するとともに、初めて来場者のアンケートを行い様々な意見をいただきました。							
	評価項目		A	В	С	D	
	事業の必要性		0				
	事業の効果			0			
事務局	事業の効率性			0			
自己評価	【自己評価の根拠】 近くで行われる県展を毎回楽しみに 受けています。合評会も好評で、作品 ました。美術館での開催を含め展示会 ています。	の解詞	党に傾聴	しメモ	をとる姿	もあり	
今後の 方向性	県展筑豊巡回展は様々な作品を一同 います。なお、会場については美術館 を踏まえ関係者等との協議を進めます	での間					
H24年度 の課題	サルビア会場と並行して美術館で新 どのように対応をするかなど、県展会 る必要があります。		–				
『評価委員の意見』 県展筑豊巡回展を美術館で開催できるように協議を進めるべきである。							
教育委員会評価     今回     B       (前回)     (B)							

(2)図書館の利用推進

事業名 (予算·決算)	[ <b>53] 図書施設運営管理運営事</b> (予算:114,436千円								
目的	図書館を適切に管理運営することにより、読書環境の整備・充実を図り、 快適かつ安心して利用する場を提供します。								
事業内容	図書館職員又は受託業者が、施設、資料、システムを管理し、地域住民に応じた資料提供サービスを行っています。 ・図書館施設の保守点検・清掃 ・図書館資料の選書、分担購入 ・移動図書館車の運行 ・図書館だよりの発行 等								
【課題等】 嘉麻市の図書館に相応しい運営方法や組織体制の充実について検討を進める必要があります。 稲築図書館が小さく蔵書も少ないので、充実を図れるよう検討する必要があります。 取り組み 【課題等への取り組み】 稲築図書館については、移動図書館車の運行拡大により、利便性の向上に努めました。									
	評価項目	1	A	В	С	D			
	事業の必要性	(	C						
	事業の効果			$\bigcirc$					
事務局	事業の効率性			$\bigcirc$					
自己評価	【自己評価の根拠】 赤ちゃんからお年寄りまで、全てのにあることで、「地域の知の拠点」とな 貸出冊数及び利用者数は前年度に比 が増えています。	よっていま	<b>ます</b> 。	-					
今後の 方向性	   継続して図書館を適切に管理運営し  ます。	.、貸出冊	数、	登録者(	の増加を	目指し			
H24年度 の課題	図書司書の資質向上を図るとともに に取り組みます。移動図書館車の運行 します。								
『評価委員の意見』 稲築図書館が狭いので、閲覧室等を確保する必要がある。									
教育委員会評価 今回 B (前回) (B)									

(2)図書館の利用推進

事業名 (予算·決算)	[ <b>54] 読書活動推進事業(生涯学</b> (予算: 725千円	<b>学習課:図書</b> 決算:		46千	円)					
目的	おはなし会、読書講演会等を開催することによって、市民の読書活動を推進し、図書館利用を促進します。									
事業内容	赤ちゃんからお年寄りまで、様々な年代に対応した読書活動推進事業を 実施します。 ・おはなし会(乳幼児向け、児童向け) ・ブックスタート ・雑誌リサイクル市 ・読書講演会 等									
H 2 3 年度 の課題と 取り組み	【課題等】   子どもたちにはおはなし会等で本の楽しさを伝え、大人には読書の大切さを感じてもらい、図書館の積極的な利用につながるように事業の充実を図る必要があります。   【課題等への取り組み】									
	評価項目	A	В	С	D					
	事業の必要性	0								
事務局	事業の効果 事業の効率性		0		-					
自己評価	【自己評価の根拠】 読書活動は、人生をより深く生きるだできないものであることに鑑み、各種読書の楽しさ、習慣づくり、必要な知識	事業を実施し	ています	す。これに	により					
今後の 方向性	PRの充実を図り、更なる読書活動技	 推進事業の推	進を図り	 )ます。 						
H24年度 の課題	子どもの読書活動推進を図るために登進計画」に基づき、おはなし会やブック加者の定着化や増加を目指すとともに、	クスタート等	い 内容を	を充実さ	せ、参					
『評価委員の意見』 評価委員の意見は、ありませんでした。										
	教育委員会評価	今回		В	1					

(2)図書館の利用推進

事業名 (予算・決算)	[55] <b>図書ボランティア養成事</b> (予算: 147千円			<b>書館係</b> 15千				
目的	図書ボランティアの養成、活動支援を行います。							
事業内容	図書ボランティア連絡協議会の活動支援、ボランティア養成講座の開催、ボランティアサークルによるおはなし会、学校での読み聞かせ等の活動支援を行います。 ・嘉麻市図書ボランティア連絡協議会(総会、研修会、交流会) ・朗読ボランティア養成講座、布の絵本展、学習支援ボランティア派遣							
H 2 3 年度 の課題と 取り組み	の課題と「理題等への取り組み】							
	評価項目	A	В	С	D			
	事業の必要性	0						
	事業の効果		0					
事務局	事業の効率性		0					
自己評価	【自己評価の根拠】 読書推進を図る上で、ボランティア ィアの協力を得ることによって、利用 ボランティアの協力、活動を通じて た事業が実施できています。	者の裾野を広	げること	ができ	ます。			
今後の 方向性	市民の継続的な読書活動推進のため	、事業を継続	している	きます。				
H24年度 の課題	新規のボランティア開拓を図り、既 ます。	長存ボランティ	′アの資ೣ	質向上を	目指し			
『評価委員の意見』 評価委員の意見は、ありませんでした。								
	教育委員会評価     今回     B       (前回)     (B)							

(3)美術館の利用促進

事業名	[56]美術館運営管理事業	•		課:美術					
(予算·決算) ————————————————————————————————————	(予算: 35,537千円	· 决算: 	3 4	, 3 4 1	十円)				
目 的	快適な環境の中で安心して作品保存や鑑賞、学習が行え、人々の憩いの 場として親しまれるよう施設の運営管理を行います。								
事業内容	作品収集と適切な環境の中での作品展示、保存を行います 施設·公園の環境整備、運営、維持管理を行います。								
【課題等】 安心して作品の展示や保存ができる環境の整備や来館者の利便性を考慮し、来館者増を図っていく必要があります。また、美術館の周知と情報提供を図っていく必要があります。 【課題等への取り組み】 加湿器の取替えなど安心して作品の保存や展示活動、鑑賞が行えるようにしました。また、おむつ交換台やベビー専用チェアー(ベビーキープ)を設置するなど利用者の利便性を図りました。美術館の周知と情報提供を図るためホームページを立ち上げました。									
	評価項目	A	В	С	D				
	事業の必要性	0							
	事業の効果	0							
	事業の効率性	0							
事務局自己評価	【自己評価の根拠】、 監視カメラの増設による展示室内の安ロン内)やベビーキープ(身障トイレ内安心して来館できるようになりました。不特定多数の人にいち早く様々な情報をとして活用され、展示室5では様々な作て幅広く活用されています。また、嘉穏を行い、資料の把握を行いました。	i)の設置によ また、美術館 発信していま E品展示が行わ	り乳幼児 専用ホー す。アト れるなど	連れのお -ムページ ·リエは学 、学習の	客様が いにより せびの場 り場とし				
今後の 方向性	・快適な環境の中で利活用できるよう ・ホームページを活用し情報を発信し			営に努める	ます。				
H24年度 の課題	・敷地内で美術館の駐車場の場所をわ ・碓井庁舎前駐車場内にある看板の活 ・美術館の周知と集客を図る必要があ	用を図ります		があります	す。				
『評価委員の意見』 評価委員の意見は、ありませんでした。									
	教育委員会評価	今回		<b>A</b>	)				

(3)美術館の利用促進

事業名 (予算・決算)	[ <b>57] 企画展事業(生涯学習課</b> (予算: 4,645千円 決算			9千円)	)	
目的	   優れた作品を鑑賞する機会を提供し 	、心豊	かな感	性を育む	ì.	
事業内容	館蔵品展、郷土作家展、夏季企画展 「春の館蔵品展」(山本作兵衛展) 「嘉飯山の画家たち展」 「絵本に見る 丸木俊の祈り展」 「たのしいこどものびじゅつてん」 「春の館蔵品展」(紙の上の出来事)	4月 6月2 8月1 11月1	1日~ 5日~ 1日~ 0日~	4月10 7月24 9月25 12月18	日(9日 日(26日 日(40日 日(34日	間) 間) 間) 間)
H 2 3 年度 の課題と 取り組み	【課題等】 他の係と連携して事業を取組み、内開催が必要です。 また、「嘉飯山の画家たち展」の出展 【課題等への取り組み】 館蔵品展では山本作兵衛炭鉱画展やました。丸木俊の祈り展では平和絵本の「パネルシアター」「マンドリンコンサ関連図書コーナーや「平和の火原画展」行委員会による「テレジン収容所の小さた嘉飯山の画家たち展の作家は全て美術	選基準等 郷土の原 トー原画 になっている。	Fの見面 かりの を開作 を開作 作者の なたち	直しが必 )作家等( 地に「ま会」 講で表」 まま会」	要 の作 手 で 品 手 三 し し ま し し ま し し ま し し ま し し ま し し ま し し ま し し ま し も し も	展示し 別朗読」 館で展実
	評価項目		А	В	С	D
	事業の必要性		0			
	事業の効果		$\circ$			
	事業の効率性		0			
事務局自己評価	【自己評価の根拠】 「嘉飯山の画家たち展」では若手作家 示。鑑賞者増の兆しが見えます。女子 ロンが一杯となりました。「丸木俊展」 き、子どもから大人まで平和について 織田廣喜氏のリトグラフを初公開する ました。	·作家 2 では様 学びま	名のア 長々な関 した。	'ーティ 関連事業 「紙の上	ストトー を行うこ の出来事	クはサ とがで 」では
今後の 方向性	・今後も優れた作品の鑑賞機会を継続 ・周年事業の開催計画に取り組みます		供して	いきます	- •	
H24年度 の課題	・新たな作家の掘り起こしを行う必要 ・集客を図り、美術館の周知を図る必			o		
『評価委員の 著名な郷土	意見』 の作家展を開催し、地域住民に鑑賞する	る機会の	)提供を	を望む。		
	教育委員会評価	今	-		<b>A</b>	)

(3)美術館の利用促進

事業名 (予算・決算)	[58] 美術館ボランティア養成 (予算: 38千円				<b>美術館</b> 2 0 千円	
目的	子どもたちの学びの支援と美術館の活動に関わる人材の育成を図ります。					
事業内容	・ボランティア会議やジュニア美術学科等の打合せ及び事前学習。 ・ジュニア美術学科学習支援および企画展示補助。 ・スキルアップ研修会(公開講座)					
【課題等】 ・様々な情報提供を行う必要があります。 ・意識の向上と活用を検討する必要があります。  【課題等への取り組み】 会議での情報提供や展示補助、スキルアップ研修会を開催しました。また、子どもたちの学びを支援しながら学びあい、意識を高めあいました。						
	評価項目		A	В	С	D
	事業の必要性		0			
	事業の効果			0		
事務局	事業の効率性			0		
自己評価						
今後の 子どもたちの学習支援や美術館活動に関わる人材の育成と資質の向上を 方向性 図ります。						
H24年度 の課題 新たにボランティア登録者の募集を行います。また、活動を通して資質 の向上を図ります。						
『評価委員の意見』 ボランティアの活動の資質の向上を図り、市報等で募集を行う必要がある。						
	教育委員会評価 今回 B					

(3)美術館の利用促進

事業名 (予算・決算)	[ <b>59] 美術教育普及事業(生涯</b> (予算: 669千円			5 1 千円)	
目的	   楽しみながら美術への関心と興味を 	·深める学びの	機会を提供	します。	
事業内容	<ul> <li>・ドローイング講座 1回</li> <li>・立体造形講座 4回</li> <li>・美術講座 1回</li> <li>・ジュニア美術学科 12回</li> <li>・わくわくアトリエクラブ 2回</li> </ul>	通年) 18歳 高校生 高校生 年齢制 (通年) 小1 4~8	以上 受請 以上 受請 以上 受請 はなし 受請 ・2年生 受 歳とその保 5 O名(保護	講者32名 E講者27名 護者 護者21名)	
H 2 3 年度 の課題と 取り組み	【課題等】 充実した学びができるよう、ジュニス設方法や就学前の子どもも参加できるます。 【課題等への取り組み】 ジュニア美術学科は低学年の基礎講以上を対象として開講しました。わくな対象に実施しました。	内容について	も検討する	必要があり	
事務局自己評価	評価項目 事業の必要性 事業の効果 事業の効率性 【自己評価の根拠】 ジュニア美術学科はボランティアの館や館内に展示し発表しました。オタ部の支援があり、ともに学びました。内外から多くの申込がありました。保体造形では創造を膨らませ立体物作成	でアートクラ 写真講座は時 は験講座ではテ	せびが充実。 うづでは嘉穂 けんのニーズ でサンで基	中学校美術 に合致し市	
今後の 方向性	今後も子どもから大人まで楽しみた ります。	がら学び合え	る美術教育	の充実を図	
H24年度 の課題 ・オダビアートクラブは一貫した流れで学べる内容で行う必要があります。 ・写真講座は受講者の技術等に差があり、初級と経験者と分けて実施する 必要があります。					
『評価委員の意見』 評価委員の意見は、ありませんでした。					
	教育委員会評価	今回		<b>A</b>	

(4)文化財の保護・継承・活用

事業名 (予算·決算)							
目 的	文化財の保存継承のため、学習を通じた周知化や学術研究等への活用を 行います。						
事業内容		・講座等の学習と企画展の整合性を図り、周知の充実に努めます。 ・指定文化財等及び関連施設の案内説明につとめ、情報提供を行います。					
H 2 3年度 の課題と 取り組み	【課題等】  「平和の火」の活用と平和学習の実施を企画する必要があります。 ・講座等と企画展の整合性と周知方法の工夫を図る必要があります。 ・文化財及び関連施設の案内説明、文化財関連情報の提供を行う必要があります。 【課題等への取り組み】 ・「平和の火」の活用について展示等の実施計画を立てました。						
	評価項目		Α	В	С	D	
	事業の必要性	(	0				
	事業の効果	(	0				
	事業の効率性			0			
事務局 目自己評価の根拠】 戦争を重要なテーマとし講座と展示を連動させ、周知方法の複数利用を実施し、また、施設や史跡を活用し小学校を中心に学社連携に努めました。文化財の情報提供は発行物を中心に行いました。「平和の火」の活用については、由来の掲示や企画展に原爆コーナーを取りこむ計画を立てました。しかし、効率性の点で戦争をテーマとしながら「平和の火」の活用に至りませんでした。							
平和企画展における「平和の火」の活用と美術館を利用した嘉麻市所蔵 今後の 方向性 ・大向性 ・大方向性 ・大方の ・大方の ・大方の ・大方の ・大方の ・大方の ・大方の ・大方の							
平和企画展における「平和の火」の活用と「山本作兵衛の原画」の保存 H24年度 の課題							
『評価委員の意見』 平和祈念館前の「平和の火」を広く周知すべきである。							
教育委員会評価 今回 A (前回) ( A )							
					( A )	,	

(4)文化財の保護・継承・活用

事業名 (予算·決算)	[ <b>61] 文化財保護事業 (生涯</b> (予算: 17,606千円			6 9 1 <del>T</del>	-円)	
目 的	文化財の保存継承のため、調査・指定・維持管理・管理運営等を行います。					
事業内容	<ul><li>・所蔵資料の整理、データベース化の継続的実施を進めます。</li><li>・指定及び埋蔵文化財等の保存管理と専門的調査を行います。</li></ul>					
H 2 3 年度 の課題と 取り組み						
	評価項目	А	В	С	D	
	事業の必要性	0				
	事業の効果	0				
	事業の効率性		0			
事務局 自己評価	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					
今後の 方向性						
番井郷土館・山田郷土資料室の資料整理等を進めるとともに、沖出古墳 出土資料再整理事業を開始します。また、文化財保護審議会内に施設検討 の課題 部会を設置して施設の機能・現状等の調査を進めます。						
『評価委員の意見』 評価委員の意見は、ありませんでした。						
教育委員会評価			<b>A</b> ( A )			

#### 5. 全体評価結果

#### (1) 全体評価結果

全体評価結果については、事務局の自己評価と評価委員の意見をふまえた教育委員会の評価結果は下記のとおりとなりました。(全61事業)

	前年度教育委員会評価		教育委員会評価
A:期待通り	13事業(20.3%)	₩	18事業 (29.5%)
B:概ね期待通り	48事業 (75.0%)	<b>*</b>	43事業 (70.5%)
C:課題あり	3事業 (4.7%)	<b>†</b>	0事業(0.0%)
D:事業の見直し要	O事業 (0.0%)	⇒	0事業(0.0%)

今回は昨年度同様、評価の方法として、事業完了度ではなく目的達成度の観点から 総合的に評価を行いました。第三者評価を含んだこれらの評価手法については、客観 的な評価が実施できるように、引き続き改善に努めてまいります。

実施事業の全体的な年度比較では、課題ありの「C評価」の事業は4.7%から0%となり、該当事業の改善が図られました。「A評価」が20.3%から29.5%(9.2ポイント増)へ、概ね期待通りの「B評価」が75.0%から70.5%(4.5ポイント減)へ、全体の評価傾向としては、向上していると考えております。しかしながら、今後も引き続き、更なる事業展開や改善を図る必要があります。

#### (2) 重要課題ごとの評価及び課題

〇 重要課題 1 「確かな学力をはぐくみ、個性や能力を伸ばす学校教育の充実」 学校教育環境の充実のための少人数指導や特別支援学級指導員等の人的支援や施設 整備などについては、計画どおりの事業が実施できています。ソフト面では、「学校提 案型学力向上事業」の対象校を 5 校増加し、基礎学力の定着に取組みました。また、 奨学金貸付事業では、データを一元化し、効果的な督促を実施することができました。

しかしながら、法的手続きを含んだ徴収や小中連携教育など長期的に取組む事業に 課題があります。

〇 重要課題 2 「豊かな人間性や志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進」 道徳推進事業は、道徳教育の更なる充実や、学校給食事業では、地産地消の推進や 日本の食文化の継承を求める意見があり、事業の充実に努めます。

また、いじめ総合対策推進事業や不登校対策事業については、地域の関係機関との連携を更に強化し、未然防止と解消、改善を図ります。

#### ○ 重要課題3「生涯学習社会の実現を目指す社会教育の推進」

公民館活動の活性化、社会教育団体の指導者や後継者の育成など、地域行事を支える人たちの支援や活動の周知について課題があります。特にボランティア事業は、登録者の高齢化が進み、新たな人材の確保が必要です。

#### ○ 重要課題4「いきいきとしたスポーツライフの創造」

公立保育園において実施した保育園児への運動指導については、事業の更なる拡大、 充実を図ることを期待する旨の評価をいただきました。今後も、こども育成課等と連 携を取りながら、事業の充実を図ります。

体育施設管理運営事業については、経年劣化による施設の改修等、施設整備に課題があります。

#### ○ 重要課題5「人権尊重精神を育成する教育の推進」

人権・同和教育の推進を図るために、行政区、企業、団体等に人権研修会等の実施 を依頼していますが、参加者の減少や企業の協力が少ない等の課題があります。地域 におけるリーダーの育成を図るなど、更なる取り組みや啓発を行う必要があります。

また、学校においては、地域と連携を取り、人権課題に向けた学習内容の充実を展開し、「感じ、考え、行動する」主体的、実践的な行動をとることができる人材の育成を推進します。

#### 〇 重要課題6「特色ある市民文化の創造」

図書館事業は、稲築地区へ移動図書館車の運行を拡大し、利用者の利便性向上を図りましたが、まだ課題があり、今後も図書館の利用促進を図っていきます。

また、美術館事業は、県展の美術館の活用について課題があり、引き続き検討が必要です。

歴史民俗教育普及事業では、「平和の火」の広報等を行い、広く周知するとともに、 平和の学習等の活用を推進する必要があります。

#### (3) おわりに

今回点検した教育委員会の事業は、「嘉麻市教育アクションプラン」に具体的な数値目標と、それに対応した行動計画として策定しており、計画的かつ効率的に諸施策を 着実に進めている状況です。

また、市民の点検評価委員のみなさまからは評価に対する指摘、改善策、貴重な意見等を頂きました。これらの貴重な意見を事業に活用し、今後の嘉麻市教育行政の発展に役立てていきたいと思います。

最後に、今回点検評価に参加・ご尽力くださいました委員の皆様に心よりお礼を申 し上げ、点検・評価報告書のまとめとさせていただきます。 《資料》

#### 嘉麻市教育委員会点検評価実施要綱

[平成21年嘉麻市教育委員会要綱第6号] [平成23年嘉麻市教育委員会要綱第4号] [平成24年嘉麻市教育委員会要綱第3号]

(趣旨)

第1条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和 31年法律第162号)第27条及び嘉麻市教育基本条例(平成22 年嘉麻市条例第16号。以下「条例」という。)第7条の規定に基づ き、嘉麻市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が実施する事 務の点検及び評価について、必要な事項を定めるものとする。

(点検評価事項)

- 第2条 教育委員会は、前年度の教育委員会の事務の管理及び執行の状況について、次に掲げる事項の点検及び評価(以下「点検評価」という。)を行う。
  - (1) 教育委員会の会議の実施状況等に関すること。
  - (2) 教育委員会の主要な施策に関する執行の状況及びその成果に 関すること。

(点検評価の方法)

- 第3条 教育委員会は、点検評価を実施するに当たり、別に定める評価表により教育委員会事務局において、その所管する事務事業等の自己評価を行わせるものとする。
- 2 教育委員会は、前項の自己評価の結果について評価の客観性を確保するため、嘉麻市教育委員会点検評価委員(以下「評価委員」という。) を設置する。
- 3 教育委員会は、評価委員の意見を踏まえ、教育委員会の会議において最終的な点検評価を行う。

(評価委員)

- 第4条 評価委員は、10人以内とし、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。
  - (1) 嘉麻市議会議員
  - (2) 嘉麻市PTA連合会委員
  - (3) 嘉麻市社会教育委員

- (4) 嘉麻市公民館運営審議会委員
- (5) 嘉麻市立図書館協議会委員
- (6) 嘉麻市立織田廣喜美術館運営協議会委員
- (7) 嘉麻市スポーツ推進委員
- (8) 嘉麻市文化財保護審議会委員
- (9) その他教育委員会が適当と認める者

(公表の方法)

- 第 5 条 教育委員会は、条例第 7 条の規定により点検評価の結果に関する報告書は次に掲げる方法で公表する。
  - (1) 嘉麻市公式ホームページに掲載
  - (2) 報道機関に提供
  - (3) 教育分室等での閲覧

(庶務)

第6条 点検評価の実施に関する庶務は、教育部学校教育課において処理する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、点検評価の実施に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この要綱は、平成21年7月8日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年4月5日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年4月1日から適用する。

# 平成24年度嘉麻市教育委員会点検評価委員名簿 (評価対象年度・・・平成23年度)

(敬称略)

	団 体 名	氏 名	備考
1	嘉麻市議会	田淵 千恵子	
2	嘉麻市PTA連合会	伏貫 実	
3	嘉麻市社会教育委員	原田 恵子	
4	嘉麻市公民館運営審議会	森原 正博	
5	嘉麻市立図書館協議会	伊藤 惠美香	
6	嘉麻市立織田廣喜美術館運営協議会	坂口 美代子	
7	嘉麻市体育指導委員	山方 国和	
8	嘉麻市文化財保護審議会	香月 靖晴	
9	その他教育委員会が適当と認める者	浅田 勉	

# 嘉麻市教育委員会点検·評価報告書 (平成23年度事業分)

発 行 嘉麻市教育委員会 (お問い合わせ先) 嘉麻市教育委員会教育部学校教育課 〒820-0392 福岡県嘉麻市大隈町733番地 TEL 0948-57-3198

発行年月 平成24年9月